

設置工事説明書

型式名	2室換気型 RBHM-C339K2P HBD-3318KCSKJ2MP
	3室換気型 RBHM-C339K3P HBD-3318KCSKJ3MP



良くある施工ミス

以下のような施工ミスが発生しています。本書をよくお読みになって、試運転を必ず行ってください。



暖房温水配管の逆接続 P.14

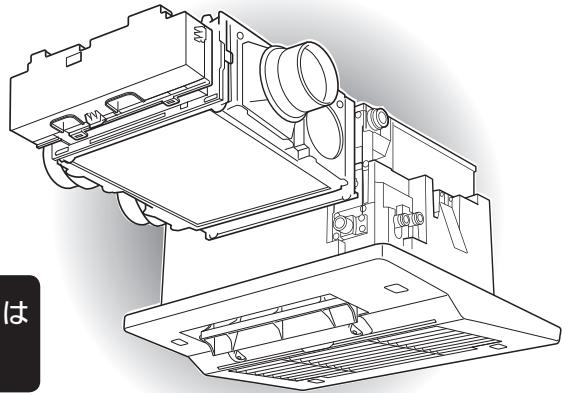


信号線のカシメ不良 P.20



端子台への誤接続 P.25

この機器の設置には
資格が必要です



もくじ

安全上のご注意	13
外形寸法	14
付属品	16
機器の設置工事手順	17
1. 取付位置の確認	17
1-1 設置前の確認	17
1-2 機器本体の設置場所の確認	18
2. 標準システム図	19
3. 機器の設置	10
4. 温水配管の接続	14
4-1 配管の端末処理	14
4-2 配管の接続	14
5. 換気ボックスの準備と取り付け・固定	15
5-1 取り付け前の準備	15
5-2 吸気方向を変更する場合	16
5-3 排気方向を変更する場合	16
5-4 吸気の分配を変更する場合；3室換気型	16
5-5 換気ボックスの取り付け	17
5-6 換気ボックスを吊りボルト(現地手配)で吊る場合	18
6. 信号線、リモコンコードの接続	20
6-1 信号線の接続	20
6-2 リモコンコードの接続	21
7. 給水の接続	22
7-1 給水配管の接続	22
7-2 給水配管工事上のご注意	23
7-3 給水配管工事	23
7-4 保温工事	23
8. 吸気、排気ダクトの接続	24
8-1 ダクトの接続	24
9. 電源工事とアース工事	25
9-1 電源線、アース線の接続	25
9-2 電動シャッター(現地手配)の接続	26
10. 外部スイッチの接続	28
11. リモコンの取り付け	31
11-1 脱衣室リモコンの設置	31
11-2 浴室リモコンの設置	34
12. フロントパネルの取り付け	37
13. ランドリーパイプの取り付け(別売品)	40
13-1 ランドリーパイプと機器の位置	40
13-2 ランドリーパイプ用フックの取り付け	40
14. 試運転	41
14-1 自動試運転(自動試運転機能付熱源機を使用される場合)	41
14-2 試運転	41
15. 異常時の処置、お客様への説明	47
15-1 異常時の処置	47
15-2 お客様への説明	48
設置工事後の点検確認	裏表紙

工事される方へのお願い

- この設置工事説明書に従って正しく施工してください。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って行ってください。
- 電気設備に関する技術基準、建築基準法、各都市の条例、消防法に従って設置工事を行ってください。
- 循環水は水道水(上水)をご使用ください。凍結のおそれのある地域に設置する場合は、不凍液をご使用ください。
(温泉水でのご使用はしないでください。配管の腐食による水漏れなどの原因になります。)
- この設置工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください。
- 工事終了後にお客様に使用方法・保証の内容をよく説明の上、この設置工事説明書と取扱説明書(保証書付)をお渡しください。
- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング(TEL03-5211-0559)でもお受け致します。



安全上のご注意

この機器を安全に設置・使用していただくために、下記のことは必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。
表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った作業をすると、設置工事作業者およびお客様が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った作業をすると、設置工事作業者およびお客様が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を表しています。

			
一般的な禁止	一般的な注意（警告含む）	アースの接続	必ず行う

- ・設置工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法・お手入れの仕方を説明してください。

警告		内釜式風呂を設置した浴室には使用できません。 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
		機器本体取り付け時、機器の改造は絶対に行わないでください。
		アース工事を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
		機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店または施工店に依頼し、有資格者による正しい工事が行われるようにしてください。
		設置工事はこの設置工事説明書に従って確実に行ってください。 据え付けに不備があると、感電、火災、水漏れの原因になります。
		設置は機器本体の質量に十分耐えられる所に確実に行ってください。 強度不足や取り付けが不完全な場合は、機器の落下によりケガの原因になります。
		凍結予防のため冬期は専用ブレーカーを「入」にしておいてください。凍結予防運転を行います。機器に電源が入っていない状態で冬期に外気温が0℃以下になると、温水回路の水が凍結し、温水回路の破損につながります。破損しますと、多大な被害を起こすことがありますので寒冷地など、凍結のおそれのある地域に設置する場合は、不凍液を使用してください。 また、やむをえず機器の電源を切る場合は、ミスト回路の水抜きを行ってください。
		電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および設置工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
		メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製のダクトや配管などが貫通する場合、金属製のダクトや配管などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。漏電した場合、火災の原因になります。

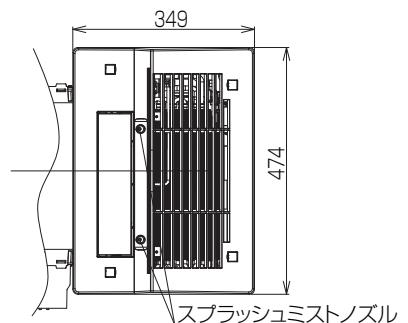
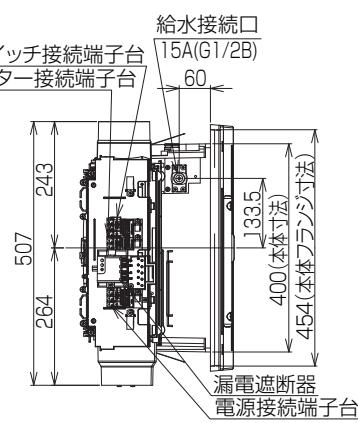
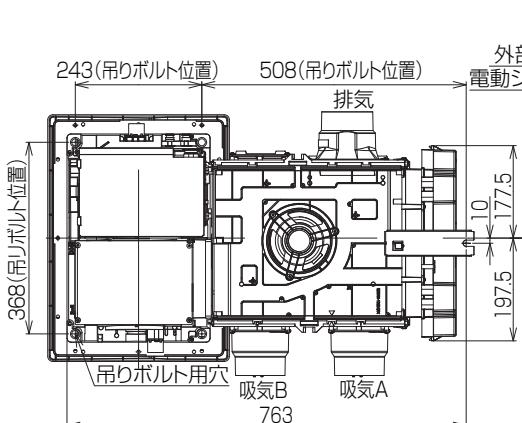
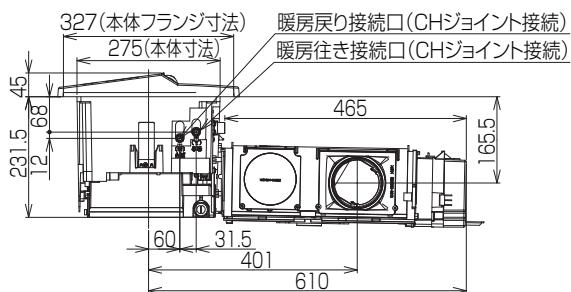
**注
意**

	可燃性ガスが漏れるおそれのある場所には設置しないでください。 万一ガスが漏れて機器の周囲にたまると、火災の原因になることがあります。
	表示してある電源 (AC100V) 以外では使用しないでください。 火災の原因になります。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）取り扱い時にカッターナイフは使用しないでください。 ナイフの刃で架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）を傷つけるおそれがあるため、架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）を切断するときやアルミ蒸着フィルムをはがす際には、たてさき刃やはさみを使用し、カッターナイフは使用しないでください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）に直接マジックインキでマーキングなどの書き込みをしないでください。 架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）はトルエン系の溶剤に弱いため、マジックインキ（トルエン系のインク）で直接パイプ表面にマーキングや文字を書いたりしないでください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）で配管する場合は、次のことに注意してください。 <ul style="list-style-type: none">・太陽光のもとに長時間さらさないでください。 架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は、紫外線により劣化するため、太陽光に長時間さらさないでください。特にアルミ蒸着フィルムを巻いていないで太陽光にさらされた部分は、使用しないでください。・架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は、屋内の太陽光の当たらない場所に保管してください。
	<ul style="list-style-type: none">・架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は丁寧に取り扱ってください。 架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）に巻いてあるアルミ蒸着テープは、かたい物に当たるとはがれる場合があります。丁寧に扱ってください。・コンクリートの床に置く場合は、ダンボールなどを敷いて保護してください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）を切断するときは、必ずカッター930を使用してください。 塩ビカッターなどで切断すると切り口が変形し、差し込めなくなります。
	部品の取り付けは確実に行ってください。 落下により、ケガをするおそれがあります。
	循環水は上水をご使用ください。温泉水を使用されると、配管の腐食による水漏れなどの原因になります。
	脱衣室リモコンは浴室の外に取り付けてください。漏電のおそれがあります。

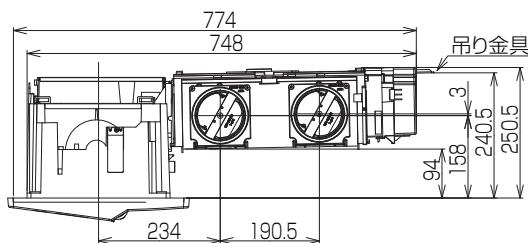
外形寸法

本体

(単位: mm)



〈コネクターカバー取り外し状態〉

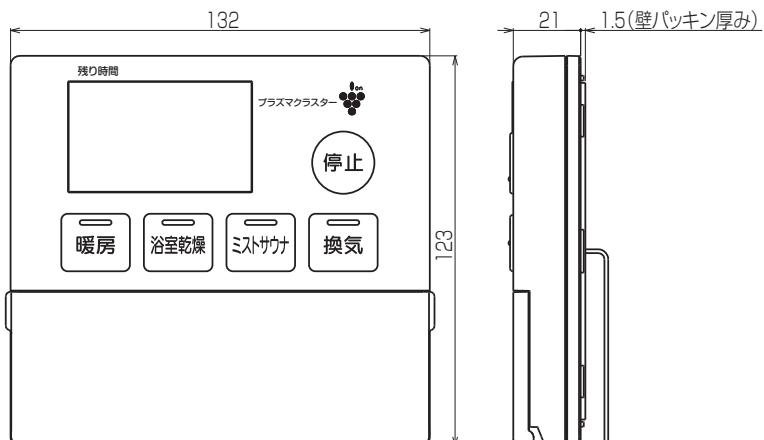
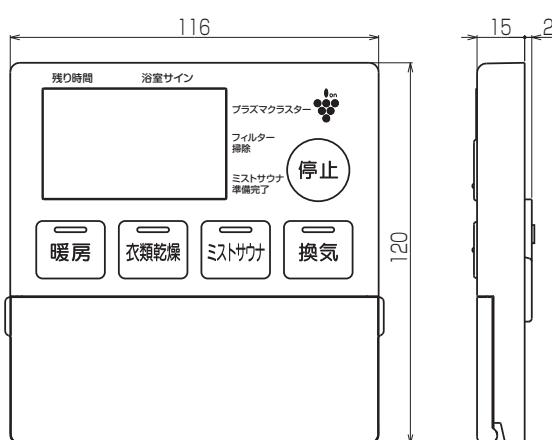


※上図は3室換気型の外形形状で表しています。

2室換気型の場合「吸気B」のダクトがありません。

脱衣室リモコン

浴室リモコン



付属品

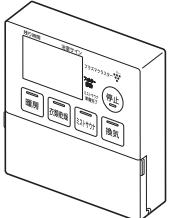
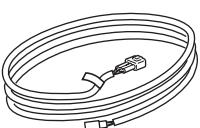
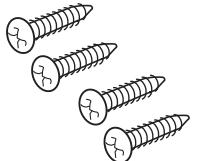
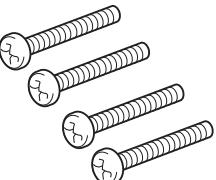
1. 開梱の際の注意事項

梱包材から機器をていねいに取り出してください。

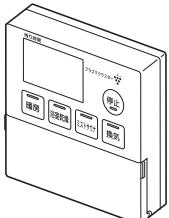
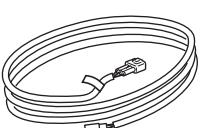
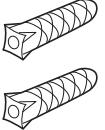
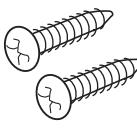
2. 機器に同梱されている付属品

次の部品が付属されています。開梱後ただちに不足がないことを確認してください。

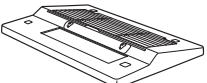
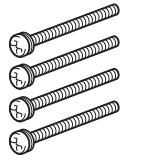
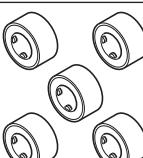
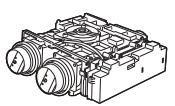
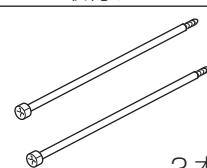
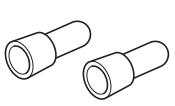
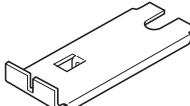
〈脱衣室リモコン専用付属品〉

部品名 形 状	 1 個	 5m 1 本	 $\phi 4.1 \times 25$ 4 本	 $M4 \times 35$ 4 本
	リモコン本体	脱衣室・浴室共用 リモコンコード	壁面取付用木ねじ	リモコンスイッチボックス 取付ねじ

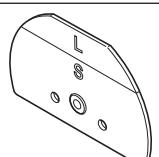
〈浴室リモコン専用付属品〉

部品名 形 状	 1 個	 5m 1 本	 2 個	 $\phi 3.8 \times 25$ 2 本
	リモコン本体 (パッキン付)	脱衣室・浴室共用 リモコンコード	オールプラグ	木ねじ

〈共通付属品〉

部品名 形 状	 1 組	 $M4 \times 30$ 4 本	 $M4 \times 16$ 2 本	 5 個	 5 個
	フロントパネル	フロントパネル 取付ねじ	吹出口取付ねじ	クッションゴム (大)	クッションゴム (小)
部品名 形 状	 1 組	 2 本	 2 個	 1 個	 $\phi 4 \times 14$ 1 本
	換気ボックス	特殊ボルト	閉塞端子	吊り金具	吊り金具取付ねじ
各 1 冊					
取扱説明書・工事説明書					

〈吸気ダクト用部品〉 この部品は 2 室換気型には付属していません。

部品名 形 状	 1 個	 $\phi 4 \times 12$ 1 本
	風量調整板	風量調整板 取付ねじ

3. 必要な工具、現地調達部材

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ・電気ドリル（チャック径φ 13mm 以上） | ・養生材 |
| ・ホールコアドリル φ 100mm
(ダイヤモンドコア、木工用、板金用) | ・脚立（脚部を養生したもの） |
| ・芯出しロングドリル | ・掃除機 |
| ・下穴用コンクリートドリル | ・水準器（長さ 400mm 程度） |
| ・引き回しのこ | ・カシメ工具 |
| ・パイプカッター | ・塩ビパイプ切断用のこ |
| ・六角スパナ（30） | ・シリコン、シリコンガン |
| ・防塵メガネ | ・木工ボンド |
| ・壁裏センサー | ・アース棒、中空用アンカー、オールプラグ（脱衣室リモコン用）、補強合板 |
| | ・カッター 930 |
| | ・ラジオペンチ |

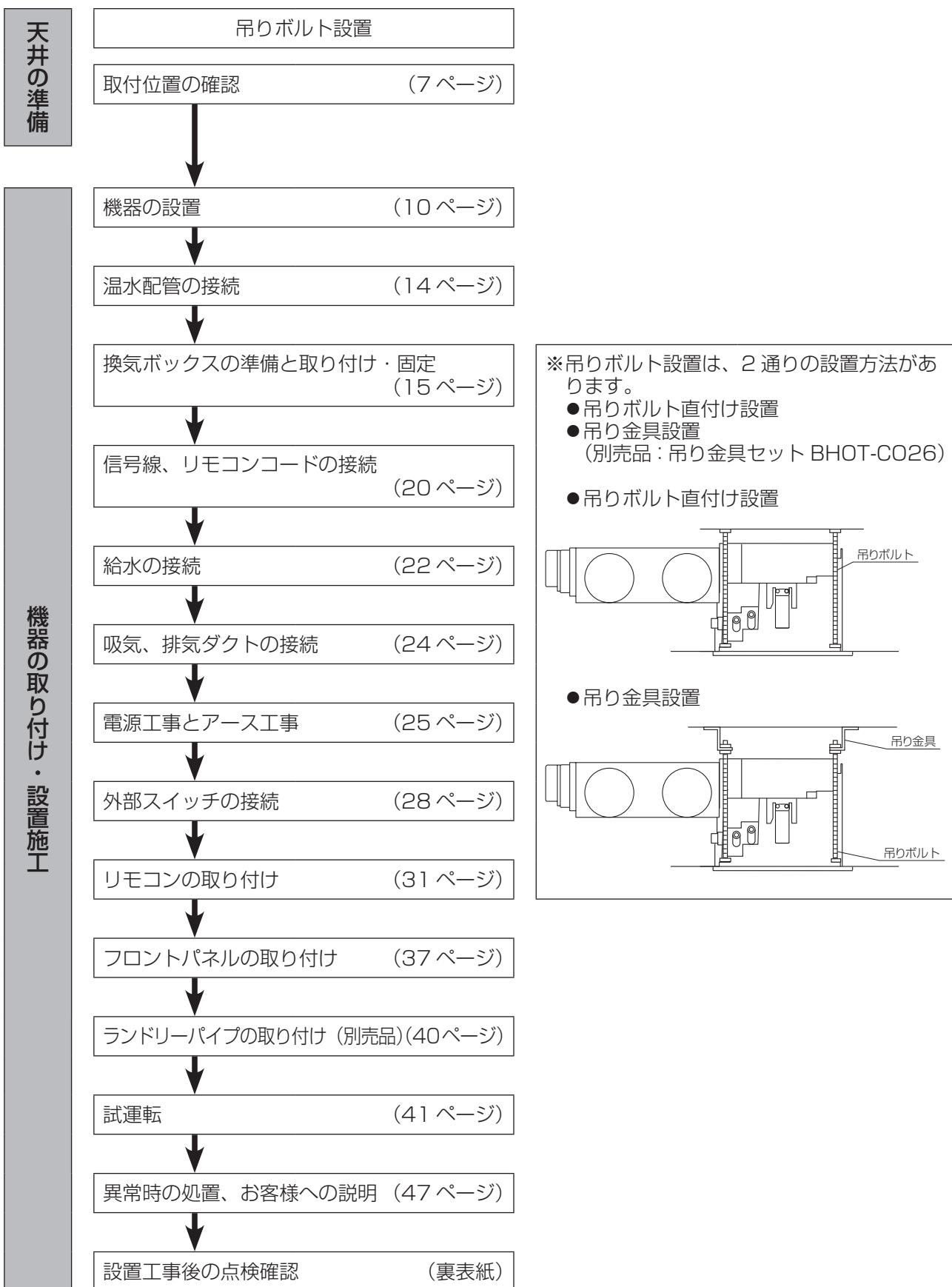
4. 別売部品

機器を設置する上で便利な部材を、下記別売部品として用意してあります。

名 称	型 式	
ランドリーパイプセット	RBK-W054	ランドリーパイプ 2 本セット
ランドリーパイプセット	BHOT-W015	ランドリーパイプ 1 本セット
暖房配管セット (8m)	MSOT-014-8	熱源機と浴室暖房機をつなぐ暖房配管 10A の 8m セットです。
暖房配管セット (15m)	MSOT-014-15	熱源機と浴室暖房機をつなぐ暖房配管 10A の 15m セットです。
給水分岐管セット (15A)	MSOT-010-15	熱源機の給水管からミストユニット用給水配管を分岐する継ぎ手の 15A 用セット
給水分岐管セット (20A)	MSOT-010-20	熱源機の給水管からミストユニット用給水配管を分岐する継ぎ手の 20A 用セット
給水樹脂管 (5m)	MSOT-013-5	給水樹脂管 10A の 5m セット
給水樹脂管 (10m)	MSOT-013-10	給水樹脂管 10A の 10m セット
先付け本体パッキンセット	BHOT-C027	先付け施工時の本体シールパッキン
吊り金具セット	BHO-C026	先付け施工時などに使用
買替アダプタセット	BHOT-C030CW	標準モジュールタイプからの買替時に使用

機器の設置工事手順

※本機器は天井直付け設置はできません。



1. 取付位置の確認

1-1. 設置前の確認

(1) 機器が使用目的・用途に適合しているか確認する。

浴室は 1.25 坪タイプ以下のユニットバスに設置できます。(浴室が広いと暖房・乾燥・ミストなど十分に性能の出ない場合があります。)

- 設置場所は浴室としてください。

脱衣室・クローゼットなど浴室以外には絶対に取り付けないでください。

(2) 浴室の天井開口寸法

機器取付用の開口穴は浴槽の中心に開けるようにしてください。

(3) 機器本体の近くに、機器本体の設置、点検、清掃に必要な点検口が必要。

(4) 熱源機の設置工事説明書を参照し、本機器と熱源機との位置が適合するよう設置する。

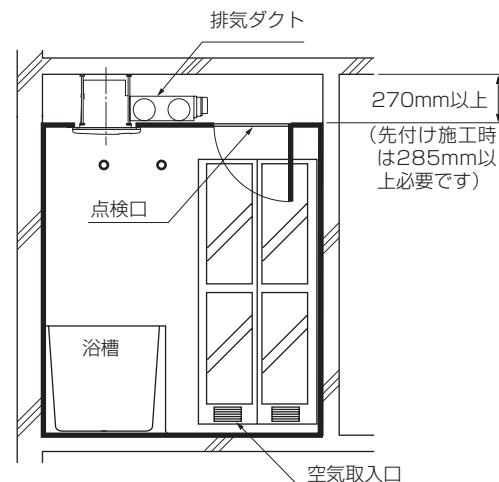
(例：熱源機上面より上方 5.6m 以内、下方 9m 以内)

(5) 本機器は機器取付面が傾斜している天井には取り付けない。

(6) 機器本体の質量(約 14kg ※機器満水時)、各配管の接続に十分耐える強度を確認する。弱い場合は補強する。

(7) 機器への給水は水道水(上水)を使用する。

(8) CF・FE 式の給湯器、ふろ釜が浴室に隣接した部屋に設置されている場合は本機器を設置しない。排気ガスが浴室内へ逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



⚠ 注意

- ユニットバスの選択にあたっては、ドーム天井、半ドーム天井などで本機器が取り付けできないユニットバスがあります。ユニットバスメーカーと調整してください。
- プラスチック一体成形などの天井で、天井コーナーに大きなRのついた機種は、本機器の取り付けができない場合がありますので、事前にユニットバスメーカーとご相談ください。
- 本機器使用により、ユニットバス内の湿度は 20%から 100%まで変化し、内壁面の温度も部分的に 50°C 弱まで上昇します。接着タイプのタイル貼りユニットバスをお選びになる場合は、タイルの剥離強度について事前にユニットバスメーカーとご相談ください。
- ユニットバス天井上面から天井スラブまでの空隙は、取り付けおよび保守作業上 270mm 以上確保してください。(機器を先付け施工の場合は、285mm 以上)
- 天井裏の障害物(ユニットバスの補強リブなど)は、天井厚みを含めて給水接続口周囲は 40mm 以下、換気ボックス周囲は 75mm 以下であることを確認してください。(機器を先付け施工で設置する場合は、天井厚みを含まず給水接続口周囲は 48mm 以下、換気ボックス周囲は 83mm 以下)
- 機器本体を先付け施工で設置する場合は、天井厚みを 10mm 以下としてください。
- 浴室のドアはギャラリー付のものを使用してください。

(9) 施工前に建築メーカー、ユニットバスメーカーと事前に調整をする。

- 給水工事が必要なため、配管の逃し寸法などについて十分に調整してください。
- 給水圧が 0.15 ~ 0.50MPa (約 1.5 ~ 5kgf/cm²) の範囲内であること。
(給水圧 0.50MPa (5kgf/cm²) をこえる場合は、0.20 ~ 0.30MPa (2 ~ 3kgf/cm²) 設定の減圧弁を取り付ける様調整してください。)
- 給水配管逃し位置先端にメンテナンス用の給水元栓を取り付ける様調整してください。
- 給水配管工事後、配管逃し位置で管の洗浄を十分に実施する様、依頼調整してください。

(10) ランドリーパイプ（別売品）の取り付け位置を確認する。

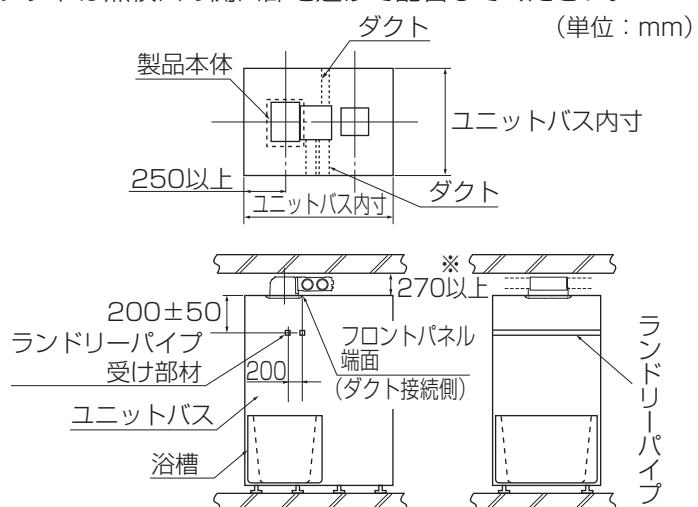
- ランドリーパイプは、別売品で設定してあるものを使用してください。別売品のランドリーパイプは、2本仕様と1本仕様品があります。(5ページ参照)
- ランドリーパイプの取り付け位置は、13. ランドリーパイプの取り付け（別売品）(40ページ)を参照し取り付け場所を選んでください。
(ランドリーパイプの取り付け位置は、お客様と話し合い決めてください。)

1-2. 機器本体の設置場所の確認

(1) 機器本体の設置場所の確認

● 設置図

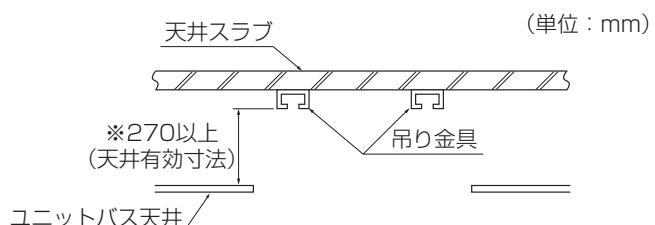
- ・ ランドリーパイプ、吸気、排気ダクトおよびグリルは、本機器の付属部品ではありません。
- ・ 吸気、排気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。



※印の天井有効寸法は、先付け施工時は 285mm 以上確保してください。

● ユニットバスの天井有効寸法

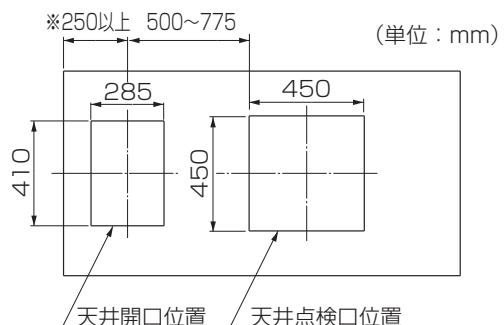
- ・ 天井スラブ面に吊り金具を使用する場合は、その吊り金具の下面からユニットバス天井の上面までが 270mm 以上（天井有効寸法）あることを確認してください。



※印の天井有効寸法は、先付け施工時は 285mm 以上確保してください。

● 浴室天井の切り欠き寸法

- ・ 天井開口は、浴槽の中心に開けるようにしてください。
- ・ 機器取付面はフラットでフロントパネルもフラット面に設置できる位置としてください。

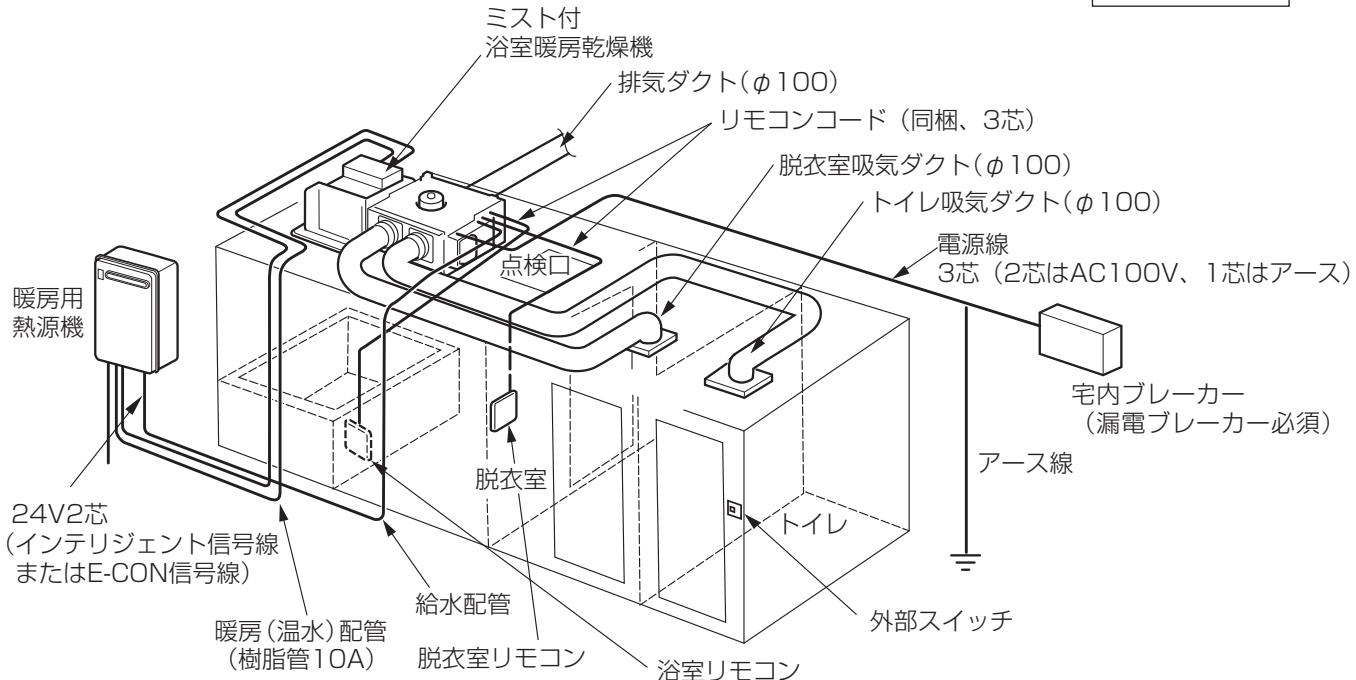


※浴室壁面から天井開口中心までの距離 250mm 以上が確保できない場合は、天井開口中心より片側 200mm 以上の平坦な天井であれば設置が可能です。

2. 標準システム図

システム系統図

イメージ図

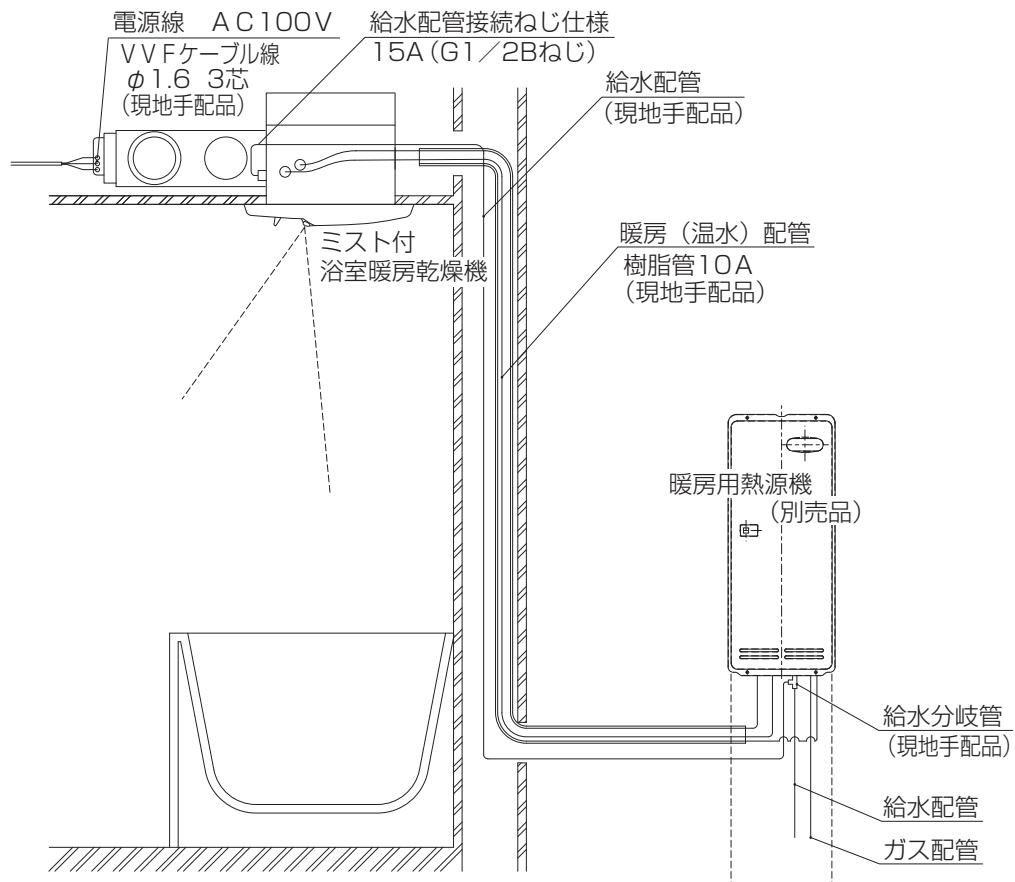


*イラストは3室換気型の場合を示します。

2室換気型の場合は、脱衣室またはトイレのどちらかの換気系統になります。

システム系統図

イメージ図



3. 機器の設置

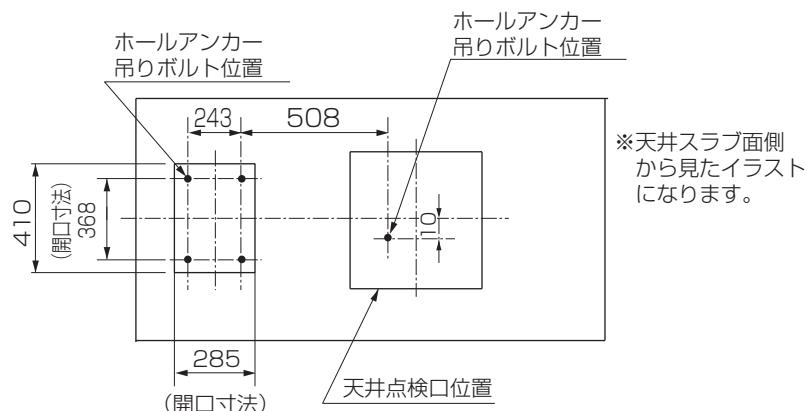
機器本体を後付けする場合（ユニットバスが既に設置されている場合）

(1) 機器固定吊りボルトの吊り位置と長さ

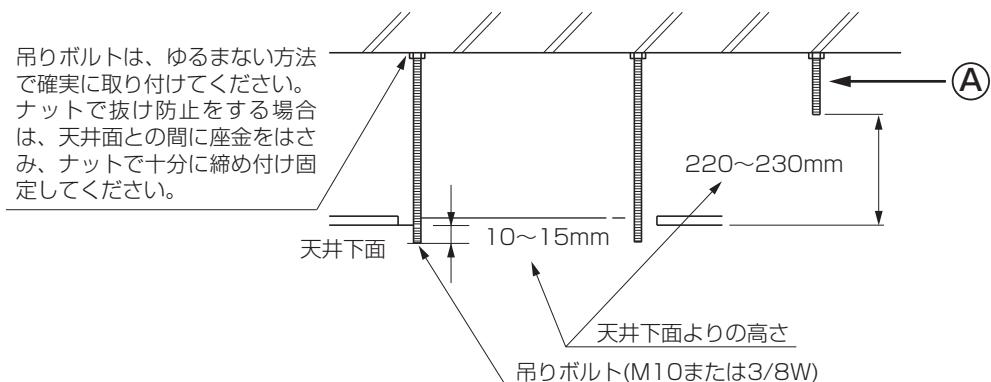
●吊りボルトの位置

ホールアンカーは M10 または、3/8W を使用してください。
(ホールアンカー、吊りボルト、ナットは同一ねじ仕様のこと)

(単位 : mm)



●吊りボルトの長さ



ホールアンカーが上図位置に取り付けられない場合は、吊り金具セット（BHOT-C026）を使用してください。

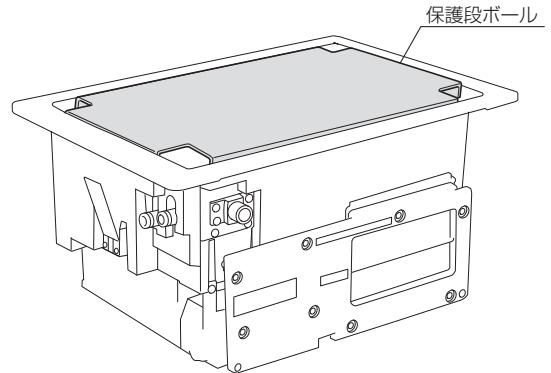
Ⓐのボルトは天井強度がなく、換気ボックスの質量でフロントパネルと天井の間に隙間が生じるおそれがある場合に取り付けてください。

⚠ 注意

- ボルト、ナットおよび座金は、ステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。また寸法切りしたボルトなどの切断面も防錆処理を行ってください。ただし、ステンレス製のものの切断面は除きます。
- 機器本体の換気ボックスが点検口側になるようにしてください。
- 機器本体吊り位置とボルトの位置がずれないように取付補助金具などを併用して調整してください。
- 天井スラブに吊りボルトを固定するとき、機器本体の質量（約 14kg）に耐えられるようアンカーワーク度に注意してください。落下や浴室破損のおそれがあります。
- 吊りボルトの垂直度に注意してください。なお、吊りボルトを途中で曲げないようにしてください。異音や振動の原因になる場合があります。

(2) 機器本体の吊り下げ

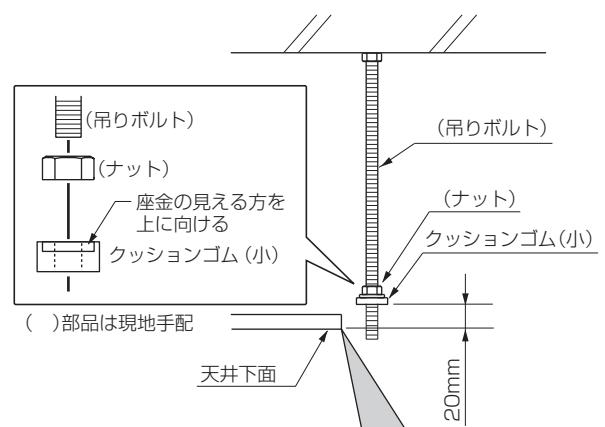
※機器本体の吊り下げ時には、本体内部を保護している保護段ボールをはずさず作業を行ってください。



①吊りボルト4本に、ナット、クッションゴム（小）（付属品）を取り付ける。

クッションゴム（小）は下面が天井下面より20mmになるように位置を合わせておきます。

※吊りボルトとナットは現地手配品。ナットはM10または3/8wを使用してください。
(ナットは吊りボルトと同一ねじ仕様のこと)
※クッションゴム（小）は、座金面を上（ナット側）にして吊りボルトに通してください。



※フロントパネルを設置した際に隙間ができる可能性があるため、天井開口部周囲に機器本体フランジに干渉するアルミテープやパリなどがないことを確認してください。

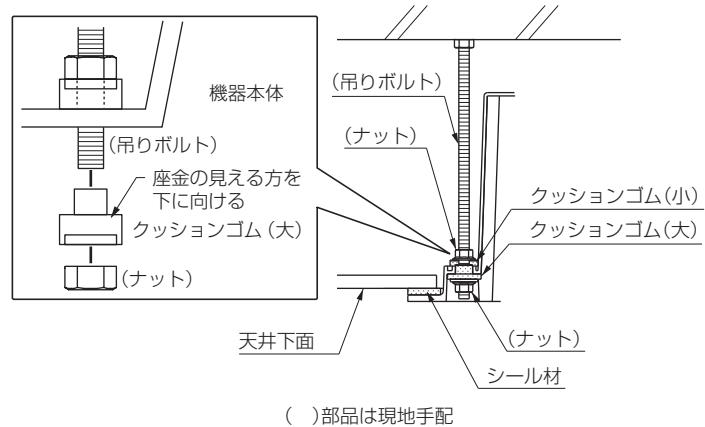
②機器本体の吊り穴に吊りボルトを通し、その後、クッションゴム（大）（付属品）をナットで仮止めします。

※ナットは現地手配品。

※クッションゴム（大）は、座金面を下（ナット側）にして吊りボルトに通してください。

③機器本体フランジ面のシール材がつぶれ、フランジと天井との隙間が1mm以下になるまでナットを締め付ける。

ナットの締め付けには、ソケットレンチを使用する。

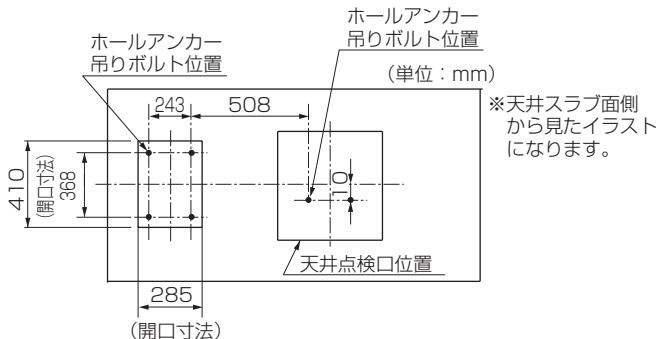


機器本体を先付けする場合（ユニットバスを後から設置する場合）

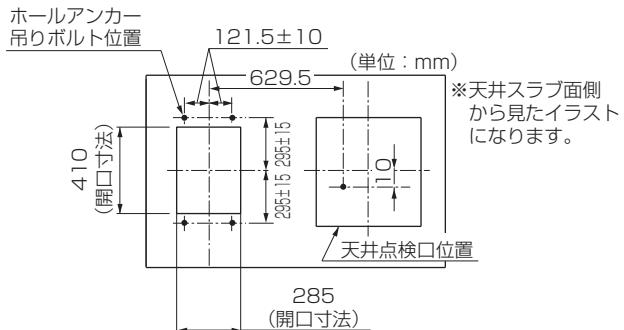
(1) 機器固定ボルトの吊り位置と長さ

●吊りボルトの位置

・吊りボルト直付けの場合

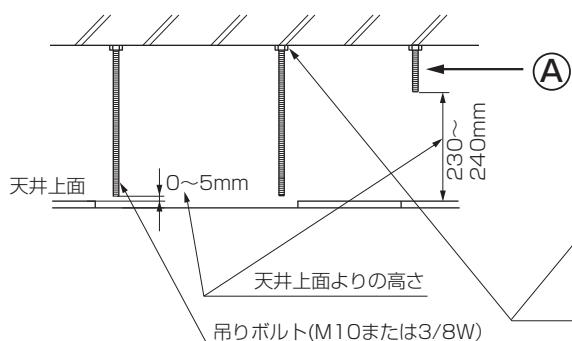


・吊り金具（別売品）を使用する場合

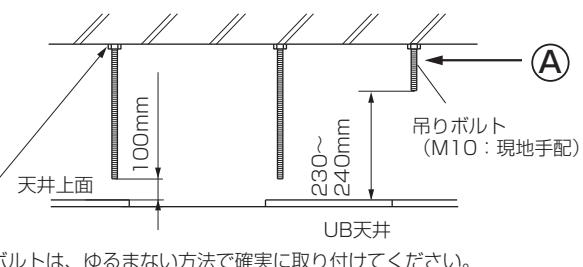


※吊り金具（別売品）は
BHOT-CO26 吊り金具セットを使用してください。

●吊りボルトの長さ



●吊り金具（別売品）を使用する場合



吊りボルトは、ゆるまない方法で確実に取り付けてください。
ナットで抜け防止をする場合は、天井面との間に座金をはさみ、ナットで十分に締め付け固定してください。

※吊り金具での設置の詳細は、BHOT-CO26 吊り金具セットの工事説明書を参照してください。

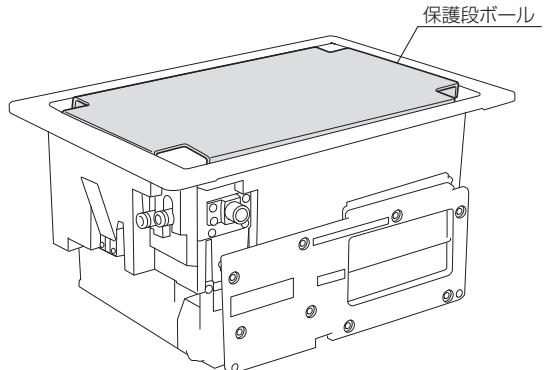
Ⓐのボルトは天井強度がなく、換気ボックスの質量でフロントパネルと天井の間に隙間が生じるおそれがある場合に取り付けてください。

!**注意**

- 機器本体を先付け施工で設置する場合は、天井厚みを 10mm 以下としてください。
- ボルト、ナットおよび座金は、ステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。また寸法切りしたボルトなどの切断面も防錆処理を行ってください。ただし、ステンレス製のものの切断面は除きます。
- 機器本体の換気ボックスが点検口側になるようにしてください。
- 機器本体吊り位置とボルトの位置がずれないように取付補助金具などを併用して調整してください。
- 天井スラブに吊りボルトを固定するとき、機器本体の質量（約 14kg）に耐えられるようアンカーワーク度に注意してください。落下や浴室破損のおそれがあります。
- 吊りボルトの垂直度に注意してください。なお、吊りボルトを途中で曲げないようにしてください。
異音や振動の原因になる場合があります。

(2) 機器本体の吊り下げ

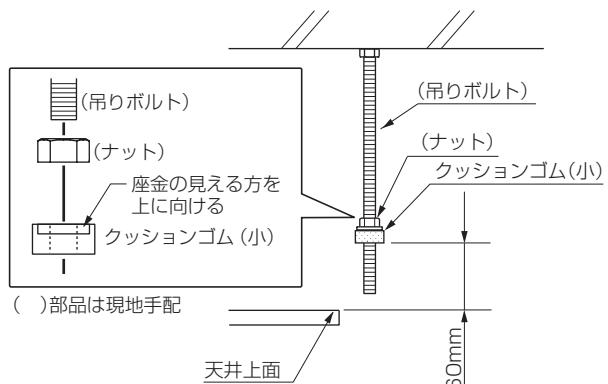
※機器本体の吊り下げ時には、本体内部を保護している保護段ボールをはずさず作業を行ってください。



①吊りボルト4本に、ナット、クッションゴム（小）（付属品）を取り付ける。

クッションゴム（小）（付属品）の下面が天井上面から60mmになるように位置を合わせる。

※吊りボルトとナットは現地手配品。ナットはM10または3/8wを使用してください。
(ナットは吊りボルトと同一ねじ仕様のこと)
※クッションゴム（小）は、座金面を上（ナット側）にして吊りボルトに通してください。



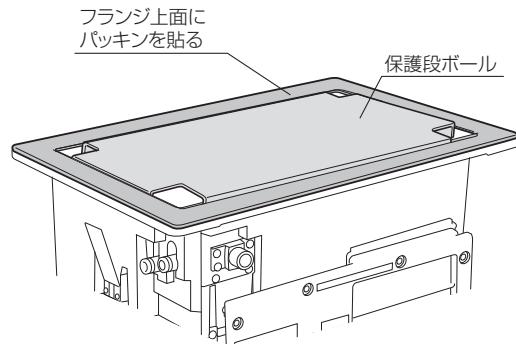
②機器本体の外周フランジの上面にパッキン（別売品）を貼る。

※パッキン（別売品）は、BHOT-C027先付け本体パッキンセットまたはBHOT-C026吊り金具セットを使用してください。

パッキンは、フランジの外周に合わせて貼る。

⚠ 注意

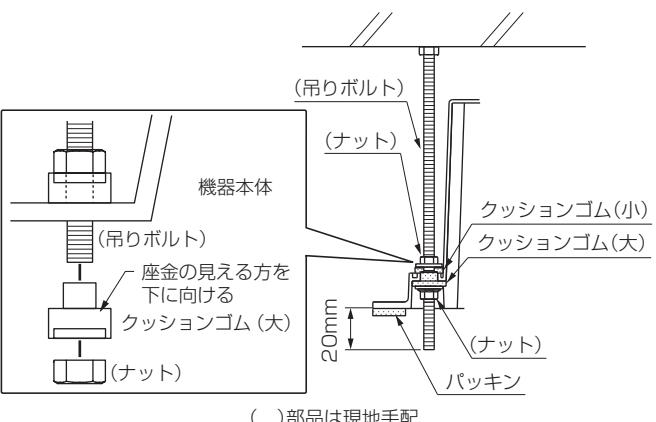
パッキン（4カ所）は隙間のないように貼り付けてください。



③機器本体の吊り穴に吊りボルトを通し、クッションゴム（大）（付属品）をナットで仮止めする。

機器本体のフランジ部がボルトの下端から20mm以上になっているか確認する。

※ナットは現地手配品。
※クッションゴム（大）は、座金面を下（ナット側）にしてボルトに通してください。



④ユニットバスが設置されてから機器本体をユニットバスの天井面に密着させ固定する。

機器本体フランジ面のシール材がつぶれ、フランジと天井との隙間がなくなるまで機器本体を下げ、ナットを締め付ける。

ナットの締め付けには、ソケットレンチを使用する。

4. 温水配管の接続

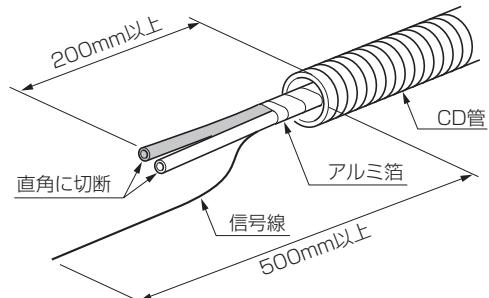
◎点検口の上に温水配管がこないように引き込んでください。

4-1. 配管の端末処理

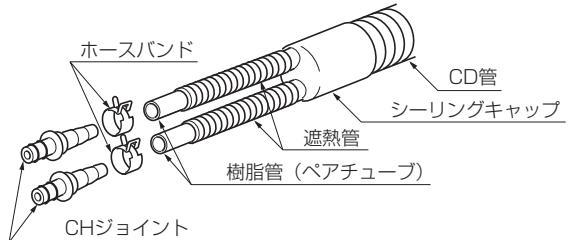
- ①ペアチューブ PT-10A（別売品）の引き込み部が200mm以上になるようCD管を切断し、アルミ箔を取り除く。
信号線はCD管の端から500mm以上に長さを設定する。

⚠ 注意

- 信号線、ペアチューブの往管、戻管に傷をつけないように切削してください。
- ペアチューブの切削は、直角にしてください。

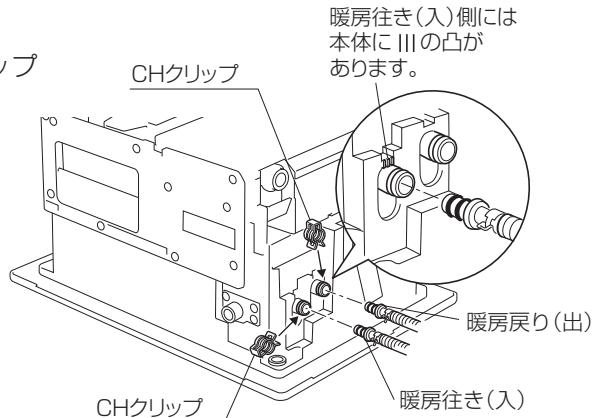


- ②CD管内にごみや結露水が入らないようにシーリングキャップを取り付ける。
③ペアチューブに遮熱管を通し、CHジョイントを差し込み、ホースバンドで固定する。



4-2. 配管の接続

- ①機器側の接続口に温水配管を接続する。
●接続口にCHジョイントを差し込み、CHクリップで固定します。



⚠ 注意

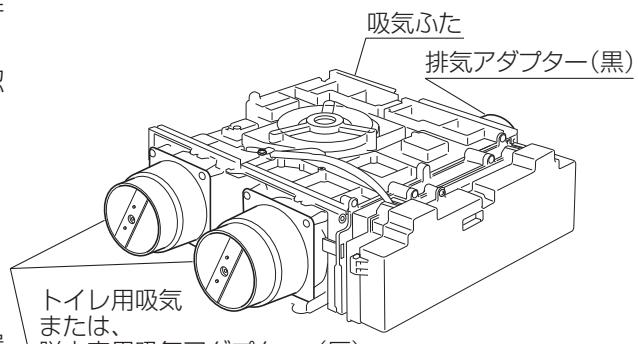
- 温水配管の接続は、熱源機側との接続前に本体側の接続を行ってください。
- 往き（入）と戻り（出）を間違えないように接続してください。
- CHクリップが確実に差し込まれていることを確認してください。

5. 換気ボックスの準備と取り付け・固定

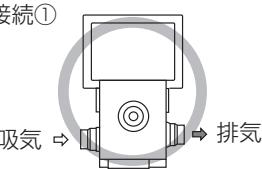
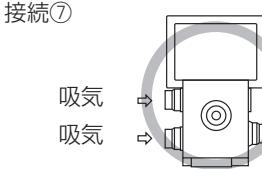
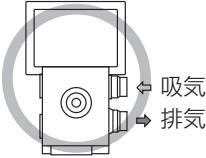
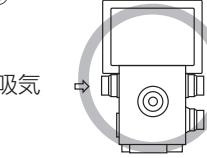
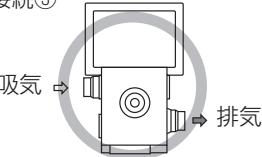
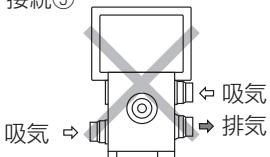
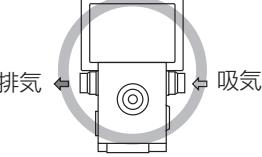
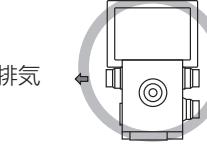
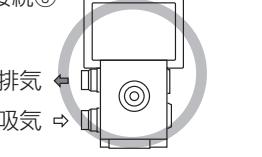
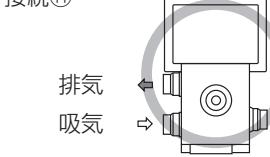
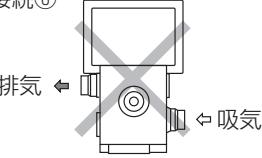
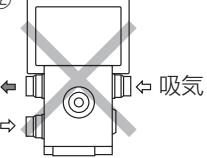
5-1. 取り付け前の準備

換気ボックスは、工場出荷時、点検口から見て右側に排気ダクトが組み付けられています。(右図参照)
換気ボックスの吸排気方向が、現場と合っているか確認してください。
換気ボックスの方向を変更する場合は、5-2, 5-3(16ページ)を参照して行ってください。

出荷時の状態（3室換気型の場合）
※2室換気型の吸気ダクトは、1力所しかありません。

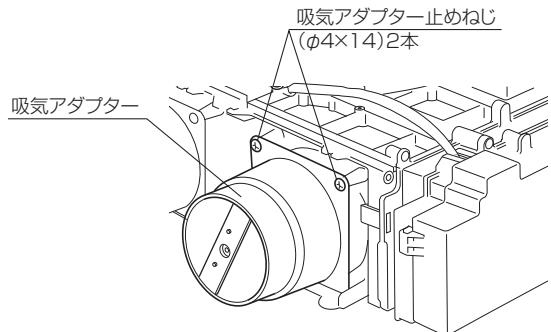


- 各ダクトの方向は下図の位置に変更できます。
下図の○印は、配置の変更が可能です。×印の配置には変更しないでください。

	2室換気型	3室換気型	
標準 (工場出荷仕様)	接続① 	接続⑦ 	
吸気方向を変更する場合	接続② 	接続⑧ 	変更方法 16ページ 5-2 を参照
	接続③ 	接続⑨  接続⑧の位置での施工で対応してください。	
排気方向を変更する場合	接続④ 	接続⑩ 	変更方法 16ページ 5-3 を参照
	接続⑤ 	接続⑪ 	
	接続⑥ 	接続⑫  接続④の位置での施工で対応してください。	接続⑪の位置での施工で対応してください。

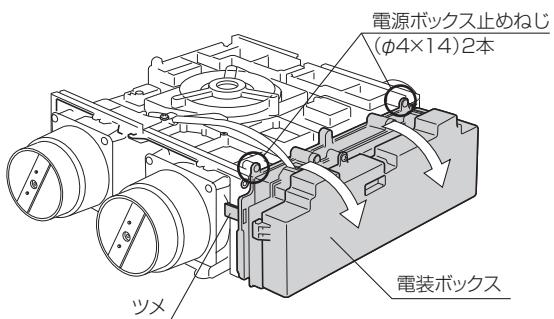
5-2. 吸気方向を変更する場合

- 吸気アダプター、吸気ふたのはずし方
吸気アダプターおよび吸気ふたの止めねじ（ $\phi 4 \times 14$ ；2本）をはずし、換気ボックスからはずします。下部はツメの差し込み（ツメ止め）になっています。
- 吸気アダプターおよび吸気ふたの位置を取り換えて、取りはずしと逆の手順で組み付けてください。

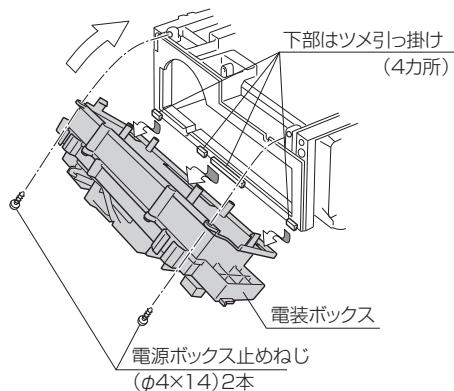


5-3. 排気方向を変更する場合

- ①電装ボックスの止めねじ（ $\phi 4 \times 14$ ；2本）と両側のツメをはずし、換気ボックスから電装ボックスをはずす。



- ②電装ボックスを換気ボックスの反対側に取り付ける。
電装ボックスは、換気ボックス下部のツメ4力所を電装ボックスに引っ掛けながら取り付け、ねじで締めて固定する。



- ③排気方向を変更した後、必要に応じて吸気方向を変更する。(5-2 参照)

！注意

排気アダプターははずさないでください。排気漏れの原因になる場合があります。

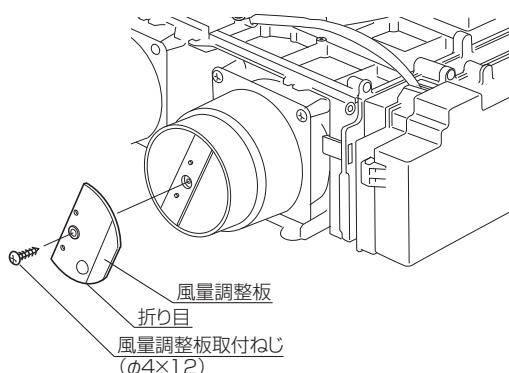
5-4. 吸気の分配を変更する場合；3室換気型

トイレからの吸気量を減らしたいなど、吸気の分配を変更する場合は、付属の風量調整板を、吸気量を減らしたい場所（トイレなど）の吸気アダプターに風量調整板取付ねじ（ $\phi 4 \times 12$ ）で取りつけてください。

〔例〕吸気の分配を変更すると、比率が下表のようになります。さらに微調整が必要な場合のみ風量調整板を折って調整してください。比率が $0.7 \rightarrow 0.85$ になります。

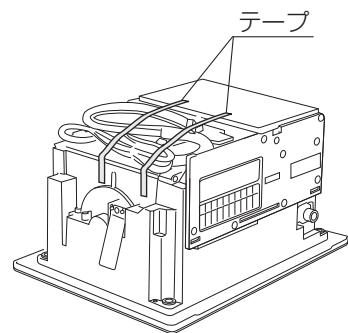
取付位置	浴室	： 脱衣室	： トイレ
なし	2	：	1
トイレ	2	：	1
脱衣室	2	：	0.7

※比率は目やすです。

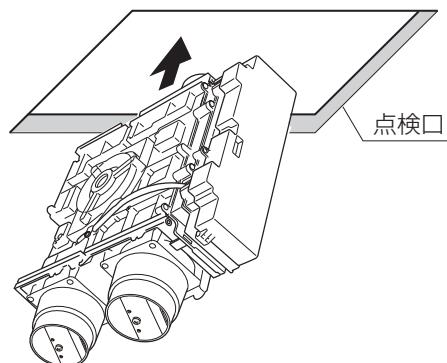


5-5. 換気ボックスの取り付け

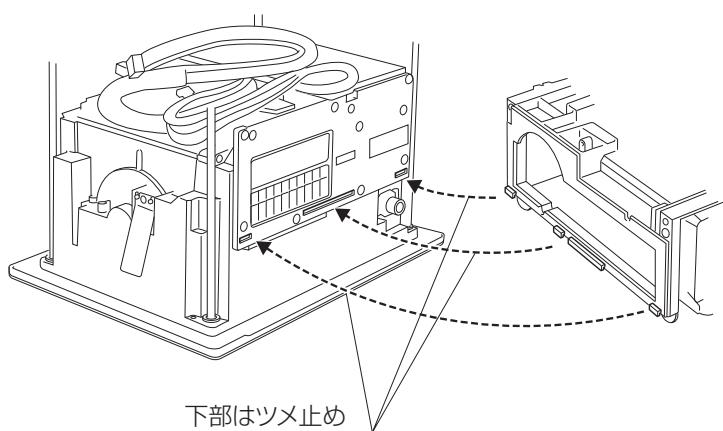
①本体とハーネスを固定しているテープ（2カ所）をはずし、換気ボックス取り付けの邪魔にならないようにハーネスを本体の左右に仮置きする。



②換気ボックスを点検口から天井裏に上げる。
点検口を通すとき、点検口や天井、機器本体にキズをつけないようにゆっくり作業する。

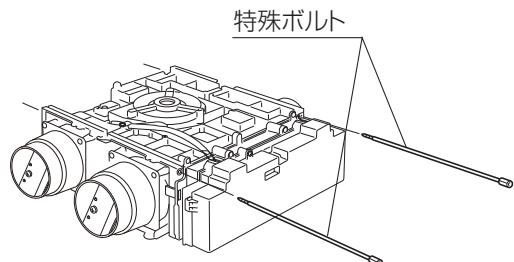


③換気ボックスは、換気ボックス本体の下部凸部を機器本体の凹部にはめて取り付ける。
換気ボックスの取り付けは、換気ボックスを持ち上げながら機器本体のガイド穴に換気ボックスのツメを差し込む。

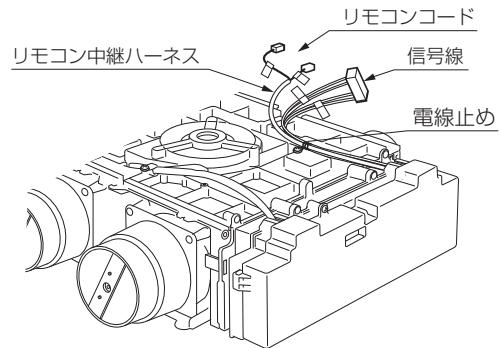


④特殊ボルト2本（付属品）で締め付け固定する。
特殊ボルトは強い力で締め付けない。

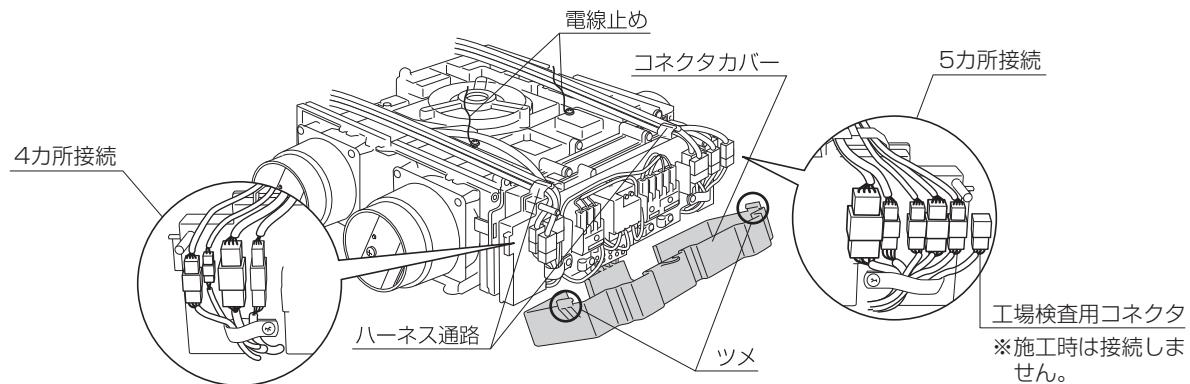
※インパクトドライバーでの締め付けはしないでください。



- ⑤電線止めで換気ボックスに固定されている信号線とリモコン用ハーネスをはずす。
リモコンコードの接続時に使用する。(21 ページ)



- ⑥コネクタカバーをはずし、換気ボックス側のコネクタに、①ではずした機器本体側のハーネスを接続する。
コネクタカバーは両側面のツメをはずすとはずれる。
接続するときに、必ずハーネスを換気ボックスのハーネス通路に通して接続する。
接続後、換気ボックスの電線止めでハーネスを固定する。
コネクタカバーをもと通り取り付ける。



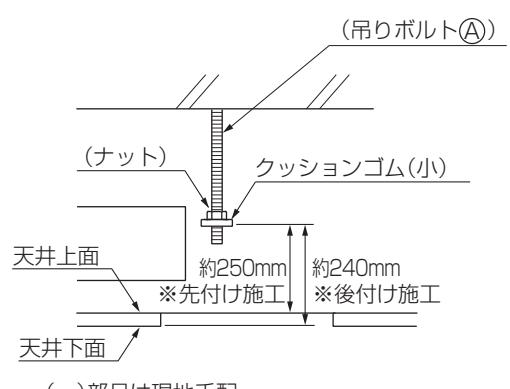
5-6. 換気ボックスを吊りボルト（現地手配）で吊る場合

換気ボックス用吊りボルトは、天井強度がなく、換気ボックスの質量でフロントパネルと天井の間に隙間が生じるおそれがある場合に取り付けてください。

- ①吊りボルトⒶ (10 ページ、12 ページ参照) にナット、付属のクッションゴム (小) を取り付ける。

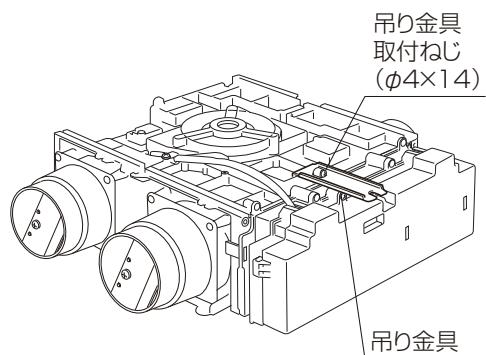
後付施工時はクッションゴム (小) の下面と天井下面が約 240mm、先付施工時はクッションゴム (小) の下面と天井上面が約 250mm になるように取り付けておきます。

※吊りボルトとナットは現地手配です。
※クッションゴム (小) の座金面を上 (ナット側) にして吊りボルトを通してください。



()部品は現地手配

②付属の吊り金具を付属の取付ねじ（ $\phi 4 \times 14$ ）で換気ボックス本体に取り付ける。



③ナット、付属のクッションゴム（大）で吊り金具を固定する。

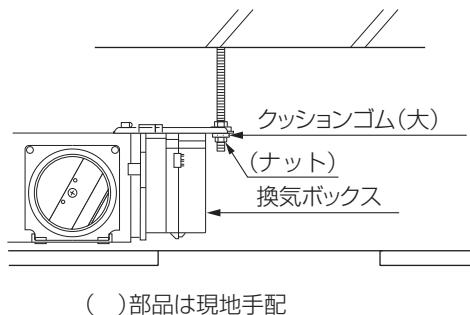
固定するときに換気ボックスが水平になっていることを確認してください。

換気ボックスが水平に固定されていないとフロントパネルと天井面に隙間ができる場合があります。

フロントパネルと天井面に隙間がないか確認してください。

※ナットは現地手配です。

※クッションゴム（大）の座金面を下（ナット側）にしてボルトを通してください。



()部品は現地手配

⚠ 注意

- 換気ボックスが傾いて固定されると、フロントパネルと天井面に隙間ができる場合があります。

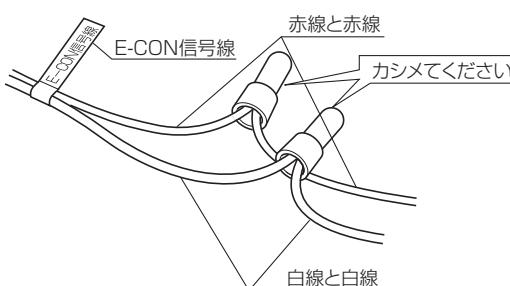
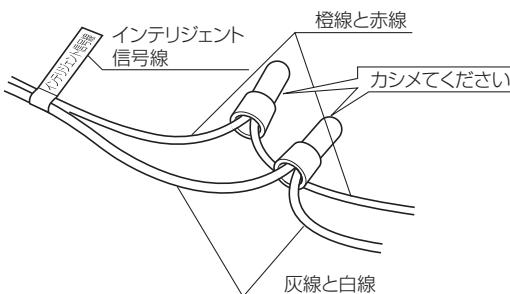
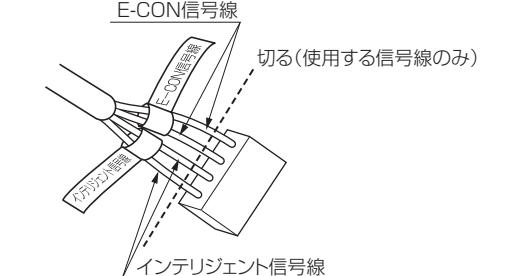
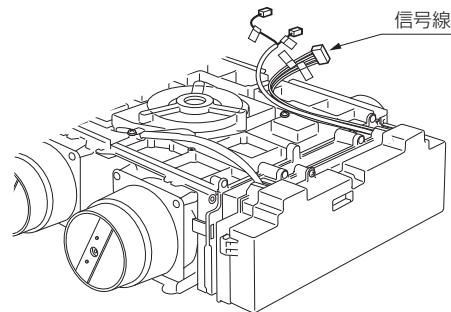
6. 信号線、リモコンコードの接続

6-1. 信号線の接続

信号線には「インテリジェント信号線」と「E-CON 信号線」があります。熱源機に合わせて使用する信号線を選んでください。

- 使用する信号線を選択し、コネクタ部を切って、被覆をはずします。閉塞端子（付属品）を使用して信号線を接続してください。
- 信号線、リモコンコードなどハーネスは電線止めで止めてあります。電線止めからはずして接続してください。

※使用しない信号線のコネクタ部は切らないでください。

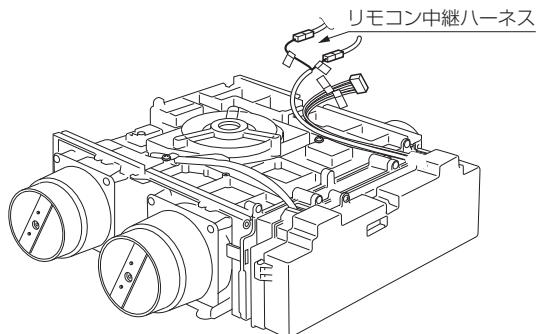
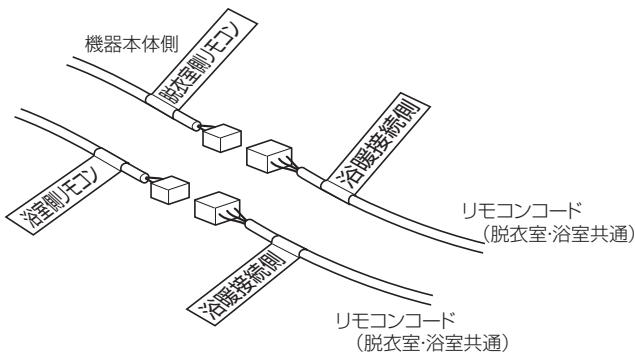


⚠ 注意

- 信号線に引っ張り力が加わらないように配線してください。
信号線を接続した閉塞端子のカシメ部で、接触不良を起こす原因になることがあります。
- インテリジェント信号線、E-CON 信号線とも、温水配管に付属している黒色の信号線は使用しません。
- 热源機側の信号線の接続は、热源機の工事説明書を参照してください。
- ハーネス、コード類を止めている電線止めは手ではずし、カッターなどでは切らないでください。

6-2. リモコンコードの接続

- 本体側のリモコン中継コネクタにリモコンコードの「浴暖接続側」と表示のある側のコネクタを接続してください。



- ・リモコンは、脱衣室用と浴室用があります。
リモコンコードは脱衣室用と浴室用で共通仕様となります。

⚠ 注意

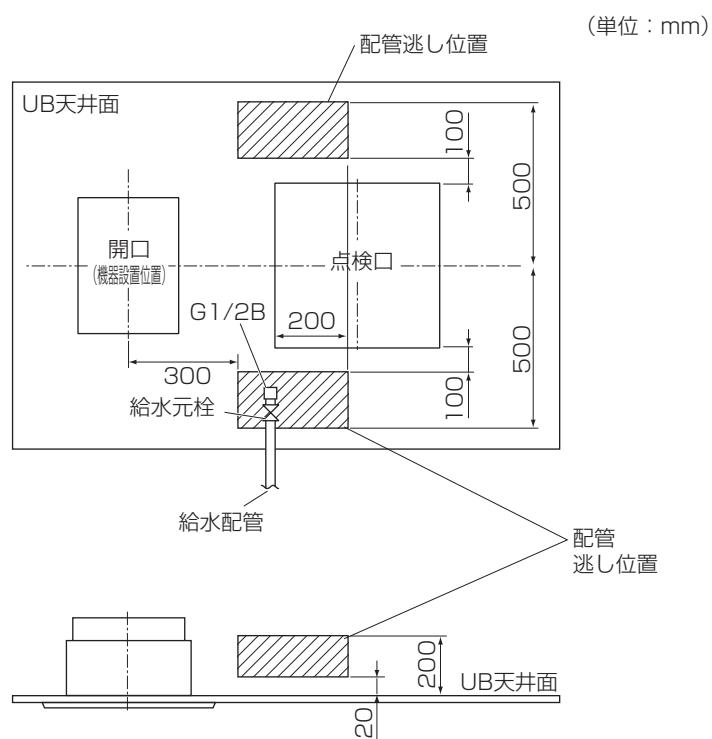
- リモコンコードは切ったり、継ぎ足したりしないでください。
- ノイズによる誤動作防止のため、リモコンコードと電源線を束ねないでください。
- リモコンコードの配線は、リモコン側と本体側のコネクター形状が異なるので無理に差し込んだり、間違えないように接続してください。

7. 給水の接続

7-1. 給水配管の接続

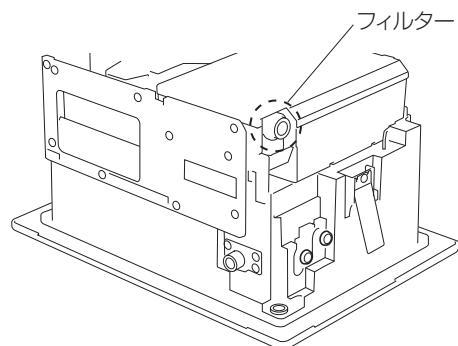
1. 給水配管の接続

- 給水配管工事は各市町村の条例に従ってください。
- 給水配管工事を行う場合、下図の配管逃し位置に逃げ配管がくるように建築側およびユニットバスメーカーと調整してください。
- 給水配管の配管逃し位置付近に、給水元栓を取り付けるように依頼してください。
※給水元栓を逆止弁付きにするかどうかは、各市町村に確認してください。
- 給水配管は、点検口の上を通さないようにしてください。
- 換気の吸気ダクトおよび排気ダクトと干渉しないようにしてください。
- 給水配管はサドルバンドなどでしっかりと固定してください。



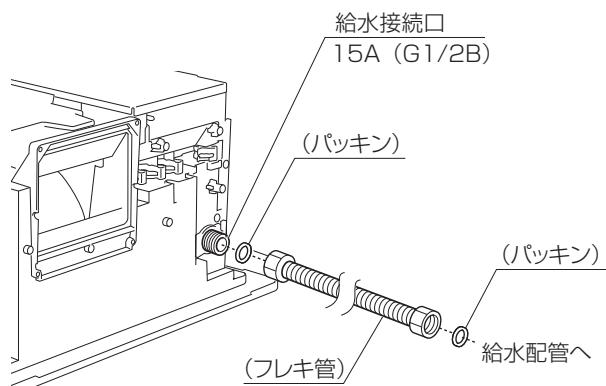
7-2. 給水配管工事上のご注意

- 事前にユニットバス天井裏に給水配管が設置されるように建築側と調整を行ってください。
- 給水配管工事は、水道事業者の指定工事店に依頼し、水道事業者の規定に従ってください。
- 水源に市水道を使用する場合は、各市町村水道局の条例に基づき施工してください。
- 配管材料は、必ず各市町村水道局の承認または検査に合格したものを使用してください。
- 継ぎ手類はできるだけ少なくし、複雑な配管をしないでください。
- 配管途中に空気たまりができないように配管してください。
- 硬度 100mg/L 以下の水道水（上水）を使用し、温泉水、井戸水などは使用しないでください。
- この機器は、機器入口での給水圧が 0.15 ~ 0.50MPa（約 1.5 ~ 5kgf/cm²）で使用してください。特に低い場合には機器の能力が十分に発揮されず、お客さまとのトラブルの原因にもなりますので、加圧ポンプを設置するなどの対策をしてください。
0.5MPa（約 5kgf/cm²）を超える場合や、台所の水栓などの操作時に水道配管の異常音（ウォーター・ハンマー現象）が起きる場合は、0.2 ~ 0.3MPa（約 2.0 ~ 3.0kgf/cm²）の減圧弁を取り付けてください。
- 給水配管を機器に接続する前に給水元栓を開けて、給水配管内のごみ、砂を流し出してください。そして接続後、通水テストを必ず行い、給水元栓を閉めてからフィルターを取り出し、フィルターを掃除してください。



7-3. 給水配管工事

- 7-2. 給水配管工事上のご注意をよく読み、部材を現地調達して配管接続してください。
- 給水配管は、配管径を変えないでできるだけ短く接続してください。（給水配管工事部材はすべて現地手配品です。）機器に接続する前に水を流して配管内の切り粉、ごみなどを排出してください。
- 給水配管工事部材は、すべて現地手配してください。給水配管の配管径は金属管の呼び径 15A または 10A、樹脂管の呼び径 13 または 10 です。機器に接続する前に、給水配管工事部材に水を流して、部材内のごみなどを排出しておいてください。
- 給水接続口の保護キャップをはずして、パッキン、フレキ管を取り付けて給水配管に接続してください。
給水口への配管接続は 29.4N·m (300kgf·cm) 以上で締め付けないでください。



7-4. 保温工事

()部品は現地手配

- 凍結防止のために、地域に合った保温処理をしてください。
- 給水配管および接続口から漏れのないことを確認してから配管を完全に保温してください。
- 給水元栓、給水接続口の凍結に注意してください。隙間がないように根元まで保温してください。

8. 吸気、排気ダクトの接続

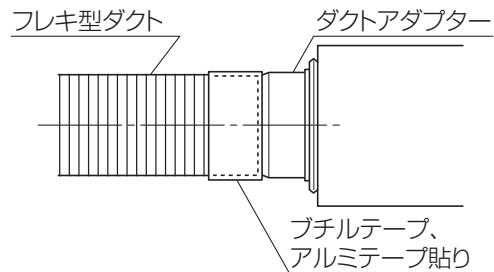
8-1. ダクトの接続

①吸気ダクトおよび排気ダクトを各々のアダプター（接続口）に接続し、ブチルテープ、アルミテープなどを全周に巻き、エアー漏れのないようにしっかりと固定する。

※ダクトの取り付け部にシリコンなどを充填しないでください。

※ダクトは点検口の上を通さないでください。
(点検作業に支障をきたします。)

※買い替えなどの製品交換時には吸気グリルや吸気ダクト内部、排気ダクト内部や屋外の排気口にほこり詰まりがないことを確認してください。運転音が大きくなる原因になります。



②雨水や結露水が本体内に逆流しないよう、ダクトに先下り勾配 (Q) がつくように施工する。(排気口フードの位置に注意してください。)
($Q = 1 / 100 \sim 1 / 50$)

③ダクトは急激に曲げない。また途中でつないだり、絞りを入れない。(抵抗となり換気時の運転音が大きくなります。)

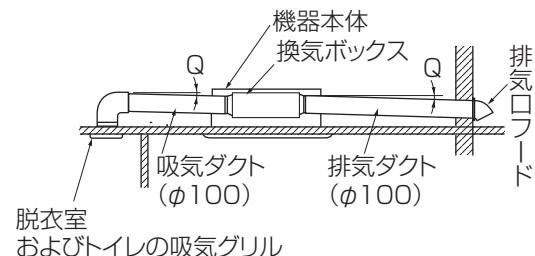
※機器側の接続口と、ダクトとの接続は、振動防止などのため、フレキ型ダクトの使用をおすすめします。

④接続されたダクトに排気口フード、吸気グリルを接続し、①と同じようにブチルテープ、アルミテープなどで固定する。

※屋外に防虫網つきの排気口フードなど目詰まりしやすい排気口を使う場合は定期的に掃除が必要。掃除ができるように配慮する。

※吸気グリルは換気ボックスにホコリなどがたまる事を防ぐため、フィルター付のものを使用してください。

※吸気グリル（現地手配品）の取り付け方法は、吸気グリルの取付説明書に従って取り付けてください。



⚠ 注意

- ダクトは、3室換気型には「吸気用2力所」と「屋外排気用」の接続口が、2室換気型には「吸気用1力所」と「屋外排気用」の接続口があります。間違いないないように接続してください。

9. 電源工事とアース工事

※電源工事は、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って有資格者が行ってください。

※電源回路は、できるだけ本機器専用回路としてください。

※機器内に高感度型漏電安全装置（感度電流 6mA）を内蔵していますので、漏電ブレーカーを別途設ける必要はありません。

⚠ 注意

- 設置の際、必ず確実なアース工事（D種接地工事）を行ってください。
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。
- 本製品は AC100V 専用です。AC200V など高電圧を印加すると故障の原因になります。
- 外部スイッチ、電動シャッター用端子台に AC100V を印加しないでください。
故障の原因になります。
- 電気工事中は、ブレーカーを「切」にし、安全に作業を行ってください。
- VVF ケーブルの加工は電気工事士の資格が必要な作業です。加工済みの VVF ケーブルを端子台に挿入するだけであれば、資格がなくても作業できますので、電気工事士が配線作業をする際に、線加工まで依頼し、必ず有資格者が加工したものを使用してください。
- ガス配管、給水配管、給湯配管と電源ケーブルなどの電気配線は接触しないように工事してください。

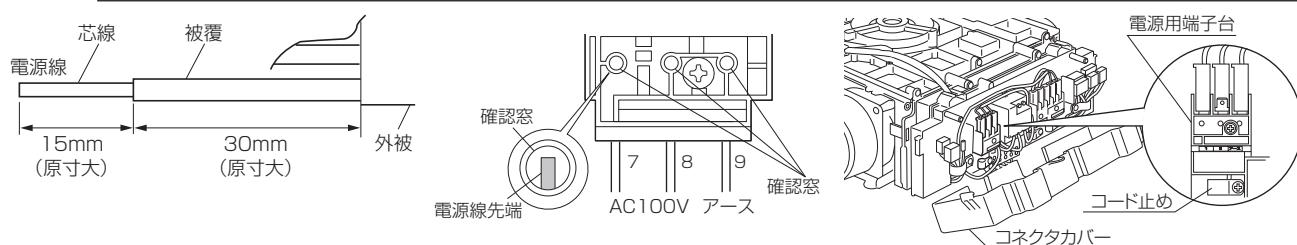


アース必要

9-1. 電源線、アース線の接続

- ① VVF ケーブル線 ϕ 1.6-3 芯（現地手配）の先端 15mm に被覆剥きを行い、換気ボックスに固定されている端子台（7, 8）の挿入口より奥に当たるまで確実に挿入する。（電源線：黒、白）

※確実に挿入されると、端子台の確認窓からケーブルの芯線が見えます。
また、アース線（残りの 1 芯）も同様の処理を行い、端子台（9）に確実に挿入してください。
(アース線の両端末に緑色テープなどで、接地線であることを表示してしてください。)
(接続する際は端子台（7, 8, 9）に貼り付けられているラベルをはがしてください。)



- ② 端子台への結線終了後、端子台への張力が加わらないように、電源線、アース線を機器に止めてあるコード止めを利用し確実に固定する。

⚠ 注意

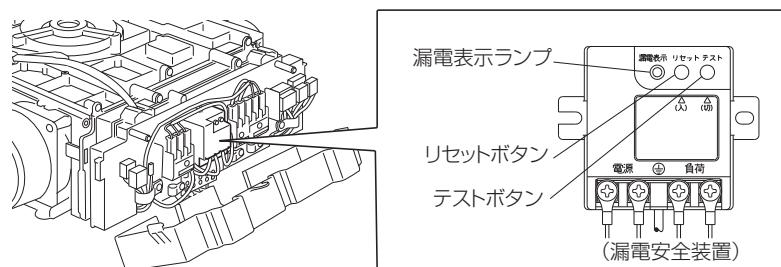
- 端子台接続時には、コネクタカバーをはずして接続してください。接続が終わりましたらもと通りコネクタカバーを装着してください。

※その際、コネクタカバーにハーネスが噛みこまないように注意してください。

- 電源、アース工事終了後、漏電安全装置（本体内蔵）の作動試験を行ってください。

[作動試験] ・漏電安全装置のテストボタンを押す。→ 漏電表示ランプが点灯する。

・漏電安全装置のリセットボタンを押す。→ 漏電表示ランプが消灯する。

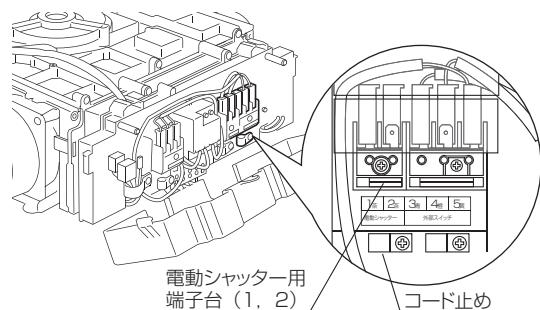


9-2. 電動シャッター（現地手配）の接続

電動シャッター（現地手配）の接続は、電動シャッター用端子台（1, 2）に接続線を挿入します。（接続する際は端子台（1, 2）に貼り付けられているラベルをはがしてください。）

接続線は、VVVFケーブルφ1.6を使用し端子台に張力が加わらないようにコード止めで固定します。

接続線が確実に挿入されたか端子台の確認窓で確かめてください。

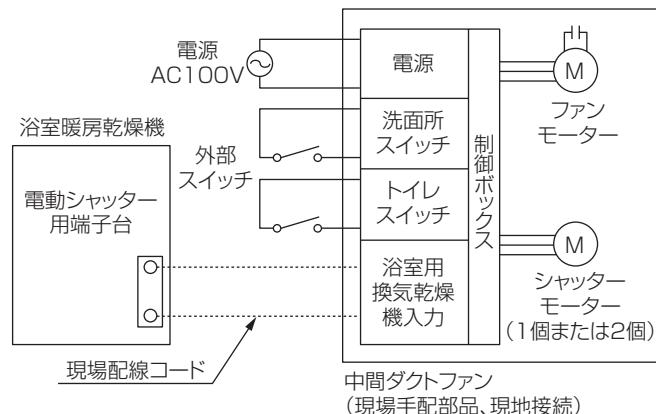


⚠ 注意

- 接続できる機器は最大負荷容量 AC100V、1.0A 以下の電動シャッター、局所換気ファン(AC ファン)、中間ダクトファン (AC ファン) です。
※電動シャッター、局所換気ファン、中間ダクトファンは現地手配品です。
- ※定格負荷ではなく最大負荷で判断してください。100V、1.0A を超えた場合、故障のおそれがあります。
- 24 時間換気機能付の中間ダクトファン (DC ファン) や、24 時間換気機能付のセントラル換気ユニット (DC ファン) の電源端子に直接接続しないでください。
※ファン起動時の突入電流により浴室暖房乾燥機が故障するおそれがあります。
ただし、専用の連動端子を備えたものは接続可能です。
- ※接続にあたっては、中間ダクトファン、セントラル換気ユニットの製造メーカーに接続可否を確認してください。不明な点はお問い合わせください。

● 浴室暖房乾燥機運動タイプの中間ダクトファンと接続する場合

(モーター駆動用電源は別)



⚠ 注意

浴室暖房乾燥機の電動シャッター用端子台からの配線を中間ダクトファンの電源に接続しないでください。（電源スイッチを浴室暖房乾燥機の外部 AC100V 出力端子で代用しない。）

連動出力端子（電動シャッター用）の運転モードの切替方法

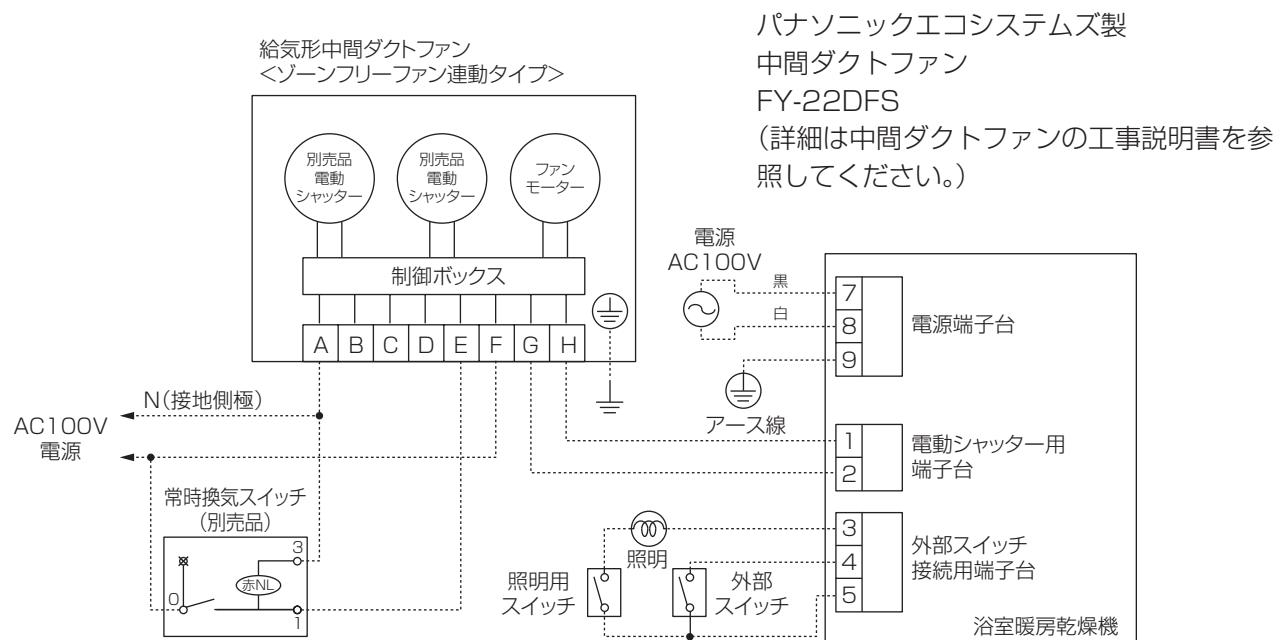
連動出力端子（電動シャッター用）の運転モードを限定したい場合に設定します。

脱衣室リモコン ディップスイッチ			
No.4	No.5	運転モード	限定したい内容
OFF	OFF	モード1(出荷時)	換気ファンを作動させる運転時に出力をONして、電動シャッターを開くようにする場合
ON	OFF	モード2	換気の給排気バランスをコントロールしている場合で、浴室暖房乾燥機で大風量を排気する時でも室内が負圧にならないよう自然給気口用ダンパーを切り替える場合
OFF	ON	モード3	24時間換気の換気風量を浴室暖房乾燥機と他の機器の両方を用いて確保する場合

運転モード	設定内容（連動出力がONになる運転）
モード1	24時間換気、換気、乾燥、涼風、外部スイッチONの場合
モード2	24時間換気風量より大きい換気風量となる運転の場合
モード3	24時間換気の場合

※「No.4：ON、No.5：ON」の組み合わせは使用しないでください。

給気形中間ダクトファンとの接続例



10. 外部スイッチの接続

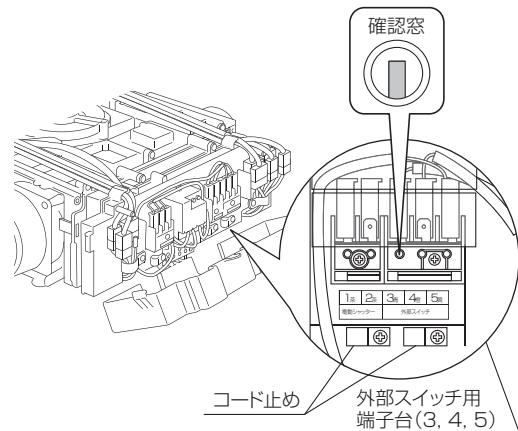
外部スイッチ（現地手配）の接続は、外部スイッチ用端子台（3, 4, 5）に接続線を挿入します。（接続する際は端子台（3, 4, 5）に貼り付けられているラベルをはがしてください。）

接続線は、VVVFケーブルφ1.6を使用し端子台に張力が加わらないようにコード止めで固定します。

接続線が確実に挿入されたか、端子台の確認窓で確かめてください。

外部スイッチとの接続は、下記の外部スイッチ接続例を参照してください。

外部スイッチは、接続が可能か事前に確かめてください。

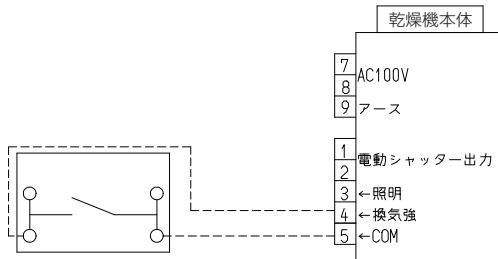


⚠ 注意

電気工事が終了したら、必ず結線間違いないかチェックしてください。

端子台「3」～「5」に外部スイッチ（現地手配）を接続することにより、本機器の換気ファンの運転を外部スイッチから行えるようにするものです。

- ON/OFF 切り替えを行う場合



⚠ 注意

●外部スイッチのOFF時の漏れ電流は5.0mA以下のものを使用してください。また、外部スイッチ接続線にはAC20mAが流れますので、これに適合するスイッチを選定してください。適合しないスイッチを接続すると正常に作動しません。

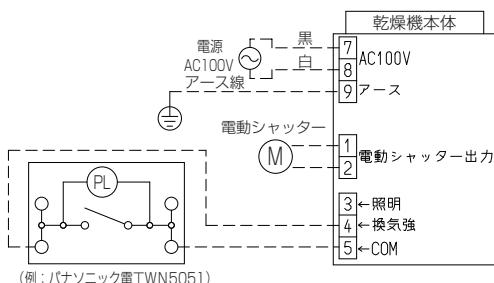
●適合スイッチについては本ページ以降の施工例を参照してください。

※天井裏での結線は中継ボックスを使用してください。

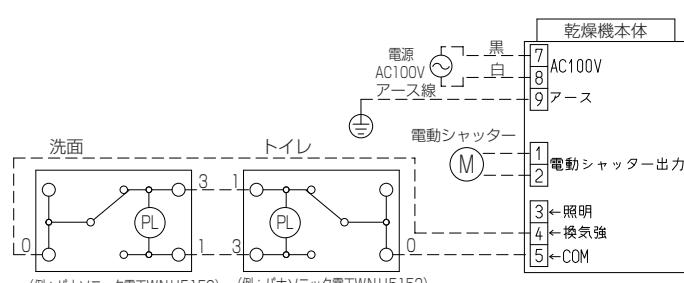
外部スイッチ接続例 (外部スイッチでON/OFF切り替えを行う場合)

①ほたるスイッチの場合

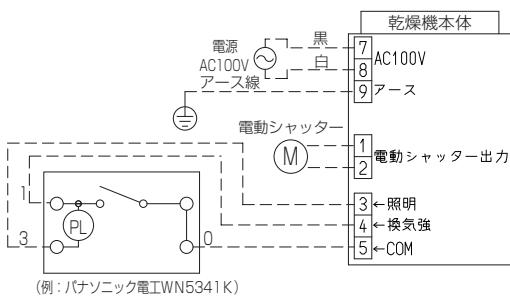
(ケース 1)



(ケース 2)



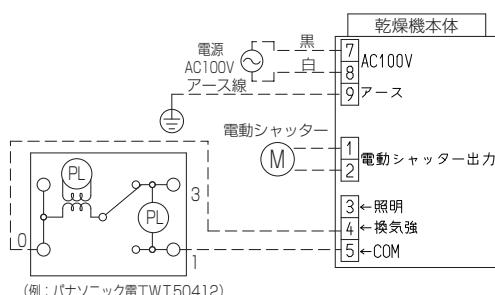
②ひかるスイッチの場合



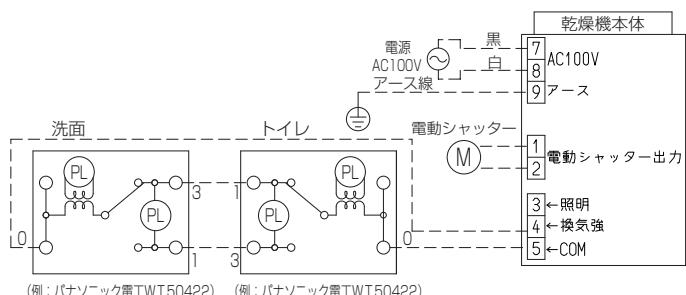
※ひかるスイッチの接続口 0 と端子台⑤、接続口 1 と端子台④、接続口 3 と端子台③をそれぞれ接続します。

③パイロットほたるスイッチの場合

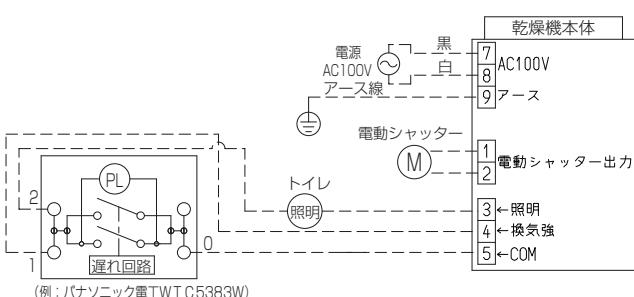
(ケース 1)



(ケース 2)

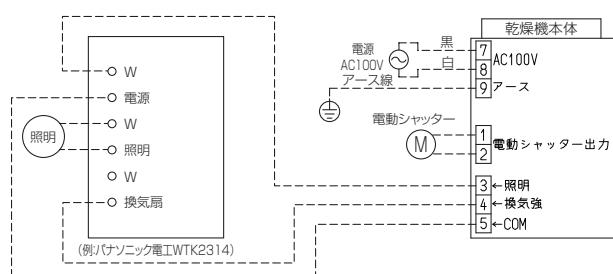


④遅れ消灯スイッチ（トイレ照明運動の場合）

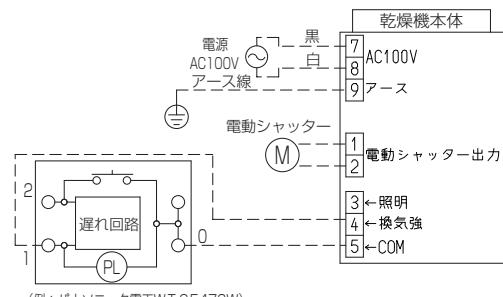


※トイレ換気スイッチの接続口 0 と端子台⑤を、接続口 1 と端子台④を接続します。また照明はトイレ換気スイッチの接続口 2 と、端子台③に接続します。

⑥人感センサースイッチの場合



⑤一時点灯スイッチの場合

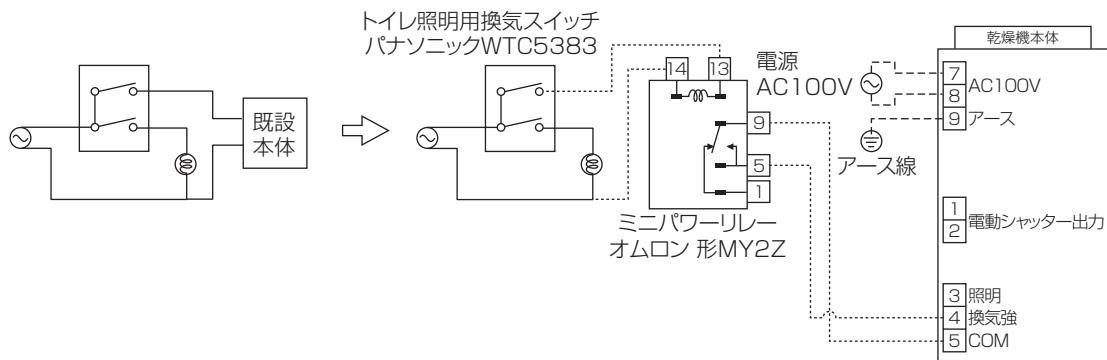


※一時点灯スイッチの接続口 0 と端子台⑤、接続口 1 と端子台④を接続します。

買替事例（既設本体のスイッチがAC100V接続されていた場合）

①遅れ消灯スイッチ（トイレ照明連動の場合）

外部スイッチ接続用端子台に電源（AC100V）
を接続すると、故障するおそれがあります。下図
のように、リレーを介した配線を行い接点信号と
して、電源（AC100V）を接続しないでください。



外部スイッチの遅れ停止機能の設定

トイレの外部換気スイッチを設けた場合、外部換気スイッチによりトイレから換気運転ができます。また、遅れ停止機能により外部換気スイッチを「切」にすると、換気は一定時間運転（遅れ運転時間）し、その後自動停止します。（24時間換気運転中の場合は24時間換気運転に戻ります。）換気の遅れ運転時間は、0～10分の間で設定することができます。設定方法をお客様に説明してください。

● トイレ換気遅れ運転時間の設定方法

- ①運転停止中にリモコンの「風向」と「停止」を2秒以上長押ししてください。
- ②▶・▼を押し、モードU8を選択します。
- ③「風向」を押すと、モードが確定します。
- ④▶・▼を押し、運転時間を設定してください。
時間は、0～10分の間で設定できます。（初期設定は、0分です。）
- ⑤「風向」を押すと、設定が確定します。
- ⑥「停止」を押すか、1分以上放置するとリモコンの表示が消えます。

● 外部スイッチでの換気運転

- ①「外部換気スイッチ」をONにしてください。
- ②トイレ換気中に「外部換気スイッチ」をOFFにしてください。
スイッチをOFFにしてから設定した時間だけ換気を行った後、自動的に停止します。

11. リモコンの取り付け

11-1. 脱衣室リモコンの設置

⚠ 注意

このリモコンは脱衣室専用です。

下記の場所には取り付けないでください。故障の原因になります。

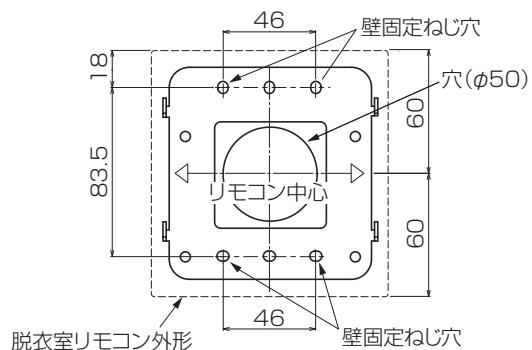
- 湯気のかかるところ
- 水しぶきのかかるところ

脱衣室リモコンを木壁面やコンクリート壁面に取り付ける場合

①取り付ける壁面にリモコンコード取り出し用の穴（ ϕ 50）を開ける。

②壁取付金具を壁面に壁面取付用木ねじ（ ϕ 4.1 × 25:4本）（付属品）にて固定する。壁（または壁の素地）がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴（ ϕ 6、深さ25mm以上）を4カ所開け、オールプラグ（現地手配）を入れてから、壁面取付用木ねじ（ ϕ 4.1 × 25:4本）にて固定する。

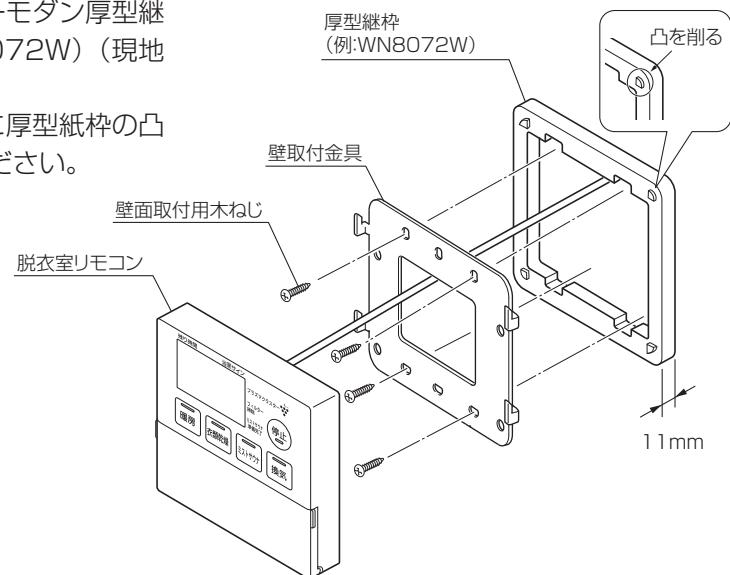
※木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形するおそれがありますのでご注意ください。取り付け後は壁取付金具と壁に隙間がないことを確認ください。



※壁に穴が開けられない場合

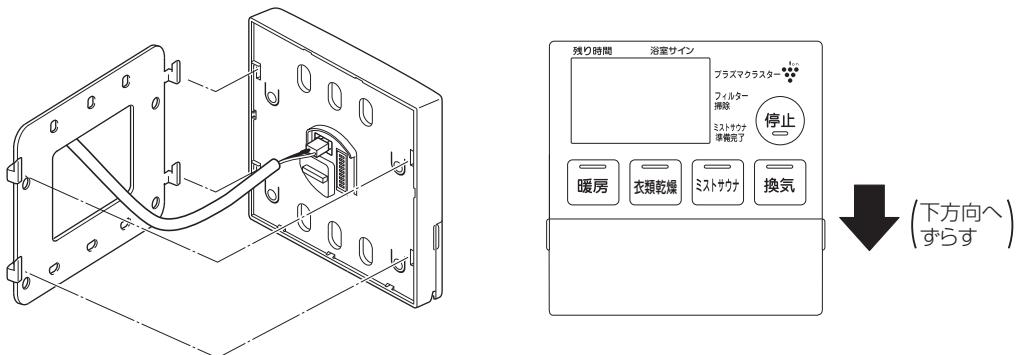
壁に穴が開けられない場合は、フルカラー モダン厚型継枠（2連）、パナソニック電工製（WN8072W）（現地調達）を使用し取り付けてください。

その場合、壁取付金具をねじ固定する前に厚型紙枠の凸部4カ所をヤスリなどで平らに削ってください。



③リモコンコードの3Pコネクタを脱衣室リモコンに接続する。

④壁取付金具のツメが脱衣室リモコンの穴に入るように取り付けた後、カチッと感触があるまで脱衣室リモコンを下方向にずらして取り付ける。



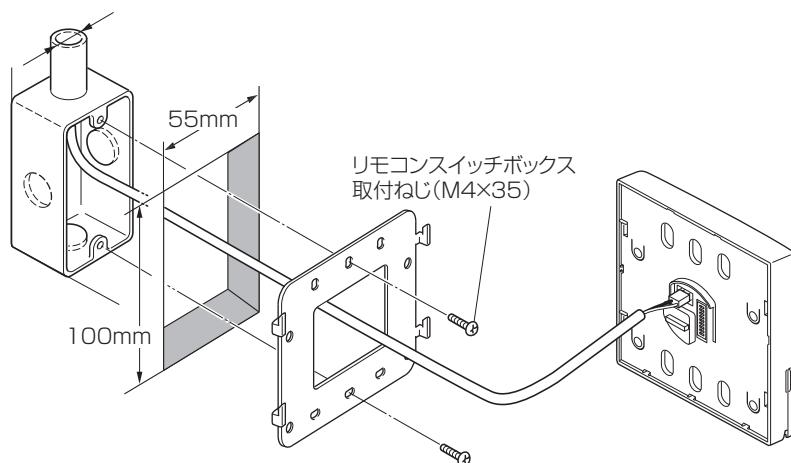
脱衣室リモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

①壁取付金具を付属のリモコンスイッチボックス取付ねじ(M4×35)にて、スイッチボックスに取り付ける。

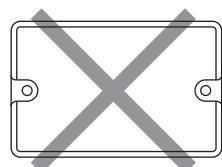
※2個用スイッチボックスへの取り付けの場合は、付属のリモコンスイッチボックス取付ねじ(M4×35)は4本止めになります。

⚠ 注意

●小ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。壁取付金具が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、0.49N·m(5kgf·cm)以下のトルクで締め付けてください。



横向きのスイッチボックスには施工できません。



②リモコンコードの3Pコネクタを脱衣室リモコンに接続する。

③壁取付金具のツメが脱衣室リモコンの穴に入るように取り付けた後、カチッと感触があるまで脱衣室リモコンを下方にずらして取り付ける。

24時間換気風量の設定

住宅の延べ床面積に応じて、24時間換気風量を設定してください。脱衣室リモコン基板上のディップスイッチで設定します。

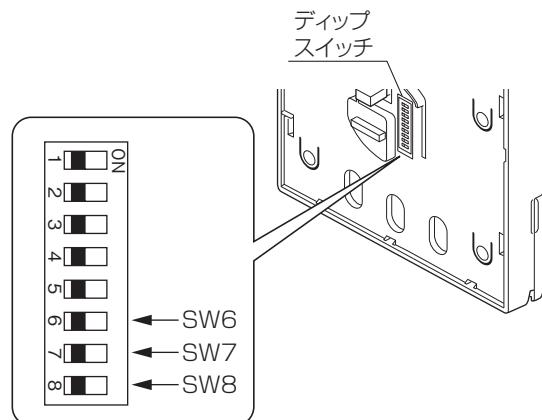
- 24時間換気風量切替スイッチ (SW6、SW7、SW8) を、下表を参照して切り替えます。

※工場出荷時は、

2室換気型は $80\text{m}^3/\text{h}$

3室換気型は $100\text{m}^3/\text{h}$ に設定しております。

※他のスイッチは動かさないようにしてください。



スイッチ位置	1 2 3 4 5 6 7 8								
2室換気風量(m^3/h)	30	40	50	80	60	90	100	110	
3室換気風量(m^3/h)	60	80	90	100	110	120	145	160	

⚠ 注意

- 脱衣室リモコンを壁に固定するときに、リモコンコードが壁取付金具とケースの間に挟み込まれると、樹脂が変形し不具合が発生することがあります。特に壁埋込配線でスイッチボックスを使わずに施工する場合は、よく確認して設置してください。
- 脱衣室リモコンを設置する建物が高気密のコンクリート住宅の場合や、換気口が小さい場合などは、換気扇を回すと部屋が負圧になり、脱衣室リモコンの取付面と壁との隙間から外気が流入して脱衣室リモコン周囲の壁が変色することがあります。換気扇を回したときに脱衣室リモコンの周囲から外気の侵入を感じられた場合は、脱衣室リモコン全周をコーティング剤でコーティングしてください。

11-2. 浴室リモコンの設置

※浴室リモコンの取り付け方法には、①スイッチボックスに取り付ける場合と、②直接壁に取り付ける場合の2通りがあります。

※リモコンコードを電線管に通す場合は、コネクタ部をビニールテープなどで保護し、リード線およびコネクタに無理な力が加わらないように注意してください。

(電線管は内径が ϕ 20mm以上のもの {JIS C8305: G22・C25・E25以上呼び径} を使用してください。)

スイッチボックスに取り付ける場合

①浴室リモコン取り付け壁面よりリモコンコードが引き出されていることを確認する。

②浴室リモコン本体裏面に付属のパッキンを貼り付ける。

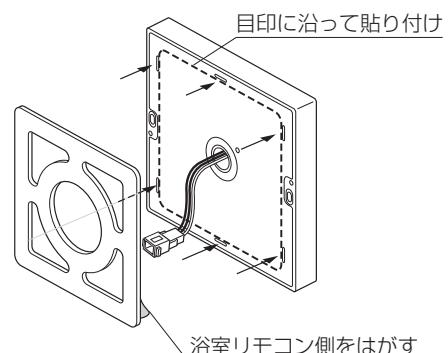
!**注意**

目印からのはみ出しや、貼りムラは故障・漏水の原因となります。

③浴室リモコンのカバーを取りはずす。

●浴室リモコンのカバーを取りはずす際は、以下の要領でお願いします。

※ \ominus ドライバーを浴室リモコン底面の溝に差し込んで、ゆっくり回してはずします。反対側も同じ方法ではずします。

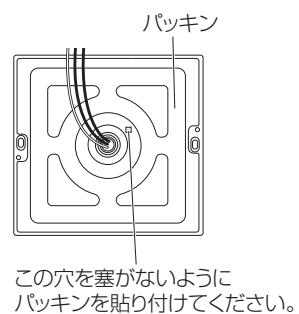


!**注意**

●ドライバーを溝に差し込むときや回すときは浴室リモコン本体に傷を付けないようご注意ください。

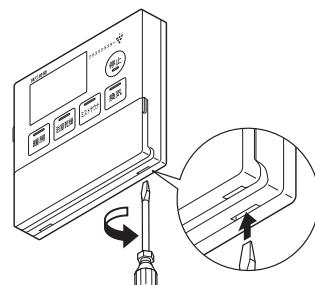
必ずカバーを取りはずして浴室リモコン本体を取り付けてください。

※推奨ドライバー：先端巾 6mm（先の細い \ominus ドライバーを使用すると傷がつくおそれがあります。）



④浴室リモコンに貼り付けたパッキンの離型紙をはがして浴室リモコンのコネクタとコード取り出し穴のリモコンコードのコネクタを接続する。コネクタ接続後、コード取り出し穴部より接続部を壁面内部に入れ込んで壁面に貼り付ける。

※貼り付ける際は浴室リモコン全体を壁に押し付けてください。



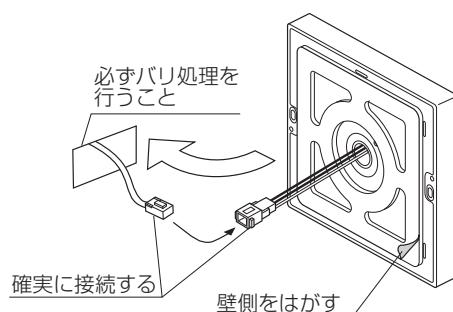
!**注意**

●離型紙は、浴室リモコン側と壁側の両方にあるため、必ずはがして取り付けてください。

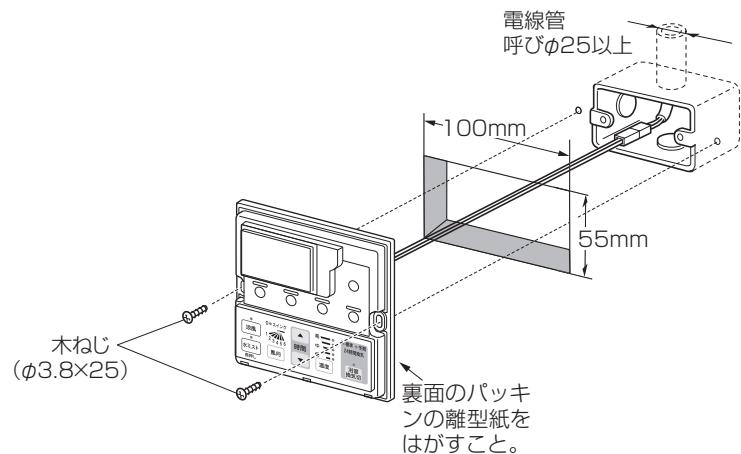
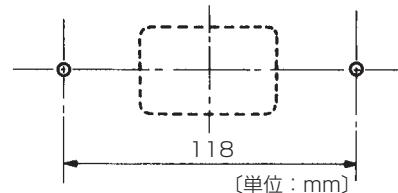
●浴室リモコンを壁面に貼り付ける際コードをはさみ込まないように注意してください。

●リモコンコード取り出し用の穴にバリがある場合は必ずバリ処理を行ってください。故障や誤作動の原因となります。

●買い替えなどでリモコンを取り換える場合、既設のパッキンは完全に除去してください。故障や誤作動の原因となります。



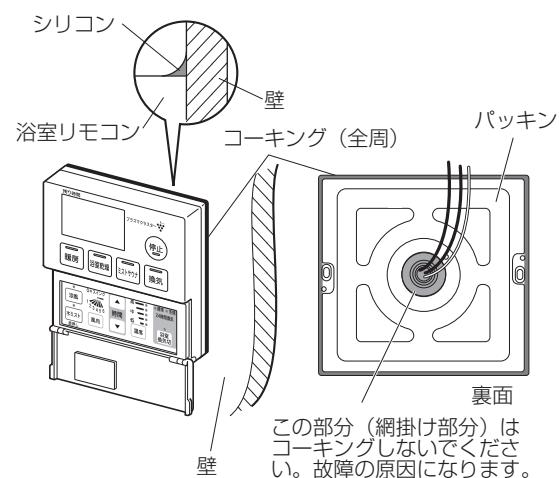
- ⑤浴室リモコンを壁面に付属の木ねじ($\phi 3.8 \times 25$ 2本)にて必ず固定する。壁(または壁の素地)がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴($\phi 6$ 、深さ25mm以上)を2カ所開け、付属のオールプラグを入れてから、付属の木ねじ($\phi 3.8 \times 25$ 2本)にて固定する。



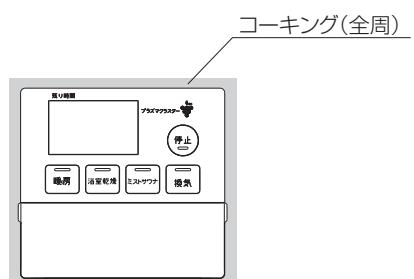
- ⑥浴室リモコンのカバーをもと通りに取り付ける。

!! 注意

- コード取り出し穴は、シリコンでふさがないでください。
- 木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。
また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、 $0.49 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$)以下のトルクで締め付けてください。

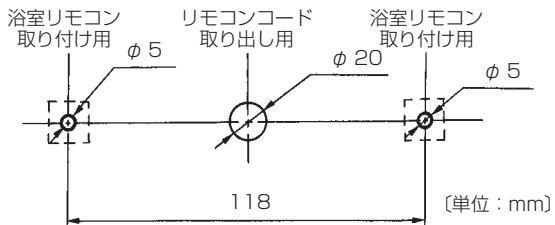


- ⑦浴室リモコンの全周(上、下、左、右)にシリコンを切れ目なく塗布しコーキングする。

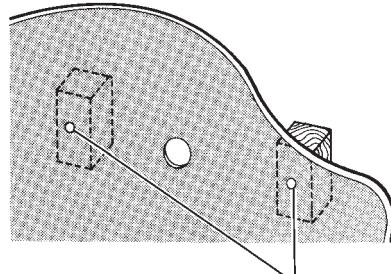


直接壁に取り付ける場合

- ①取り付ける壁面にリモコンコード取り出し用の穴1個と浴室リモコン取り付け用の穴2個を開ける。



- ②浴室リモコン取り付け用穴の外側に補強用の木片を取り付ける。

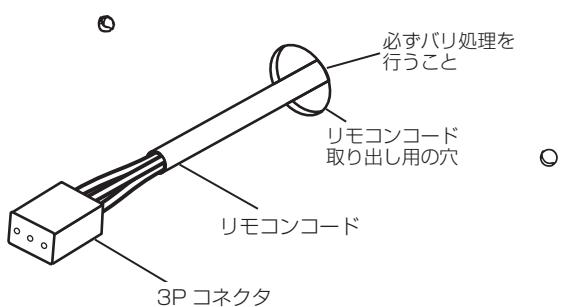


木ねじ用の下穴を開けておく

- ③リモコンコード取り出し用の穴にコネクタ付3芯リモコンコードを通す。

⚠ 注意

リモコンコード取り出し用の穴にバリがある場合は必ずバリ処理を行ってください。故障や誤作動の原因となります。



- ④浴室リモコン本体裏面に付属のパッキンを貼り付ける。(「スイッチボックスに取り付ける場合」の②参照)

- ⑤浴室リモコンのカバーを取りはずす。(「スイッチボックスに取り付ける場合」の③参照)

- ⑥浴室リモコンに貼り付けたパッキンの離型紙をはがして浴室リモコンのコネクタとコード取り出し穴のリモコンコードのコネクタを接続する。コネクタ接続後、コード取り出し穴部より接続部を壁面内部に入れ込んで壁面に貼り付ける。

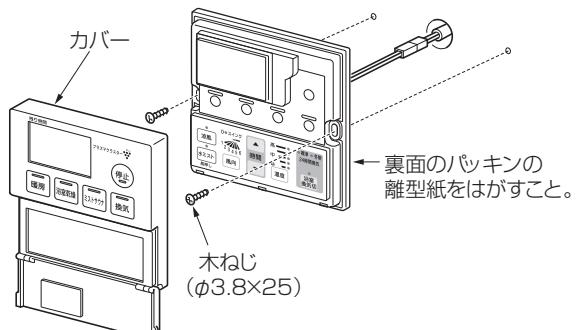
※貼り付ける際は浴室リモコン全体を壁に押し付けてください。(「スイッチボックスに取り付ける場合」の④参照)

⚠ 注意

- 離型紙は、浴室リモコン側と壁側の両方にあるため、必ずはがして取り付けてください。
- 浴室リモコンを壁面に貼り付ける際コードをはさみ込まないように注意してください。
- 買い替えなどでリモコンを取り換える場合、既設のパッキンは完全に除去してください。故障や誤作動の原因となります。

- ⑦浴室リモコンを壁面に付属の木ねじ(Φ3.8×25 2本)にて必ず固定する。壁(または壁の素地)がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(Φ6、深さ25mm以上)を2カ所開け、付属のオールプラグを入れてから、付属の木ねじ(Φ3.8×25 2本)にて固定する。

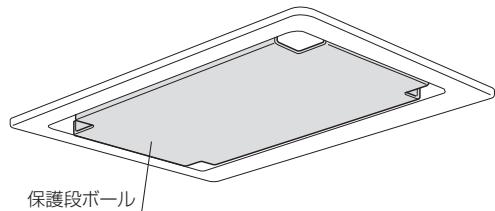
- ⑧浴室リモコンのカバーをもど通りに取り付ける。



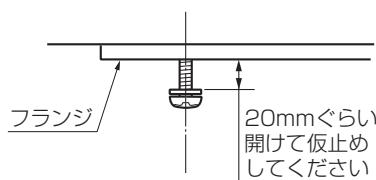
12. フロントパネルの取り付け

*フロントパネルの取り付け前に、天井面に反り、凹凸がないか確認してください。
天井面が反っていたり、凹凸があるとフロントパネルを取り付けたときに隙間ができる。

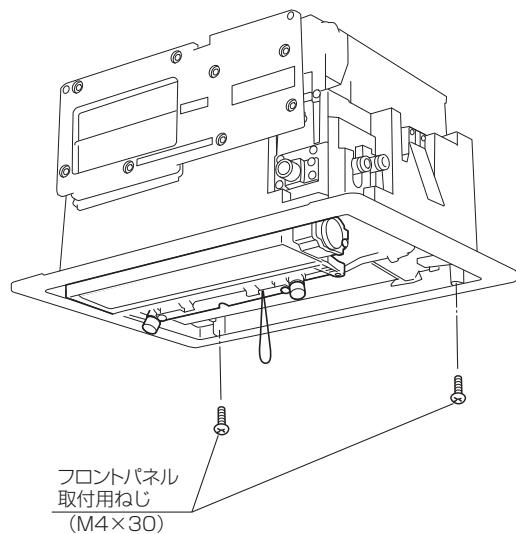
①機器本体の保護段ボールをはずす。



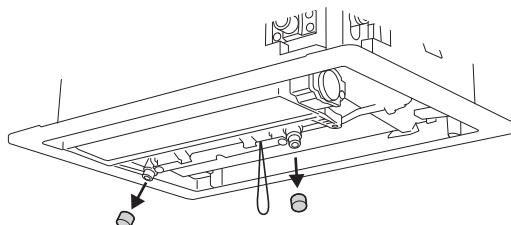
②フロントパネル取付ねじ（M4×30：2本）（付属品）
を機器本体に仮止めする。
機器本体とねじ頭は、20mm ぐらい開けておく。



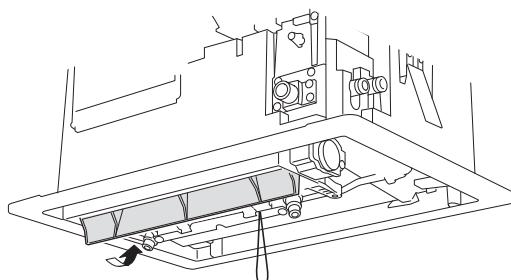
*先付け施工時のフロントパネル取付ねじは、先付け本体パッキンセット（別売品：BHOT-C027）または吊り金具セット（別売品：BHOT-C026）に同梱のねじ（M4×50）を使用し上図のねじ頭の飛び出しを天井下面から 20mm 程に設定してください。



③ミストノズルの保護キャップをはずす。



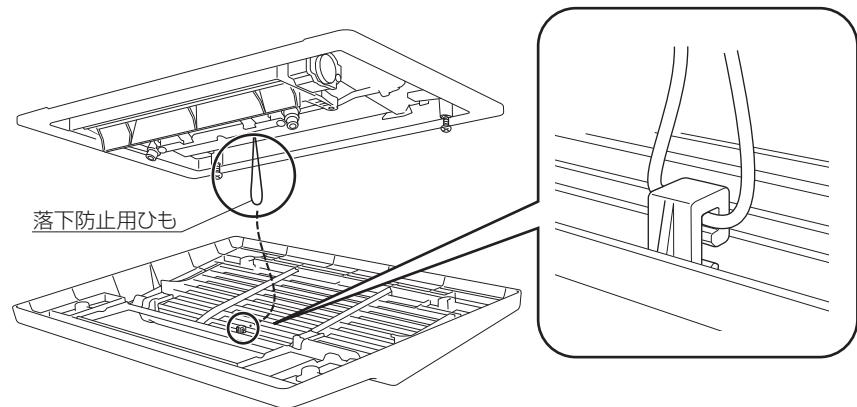
④ルーバーを立ち上げる。



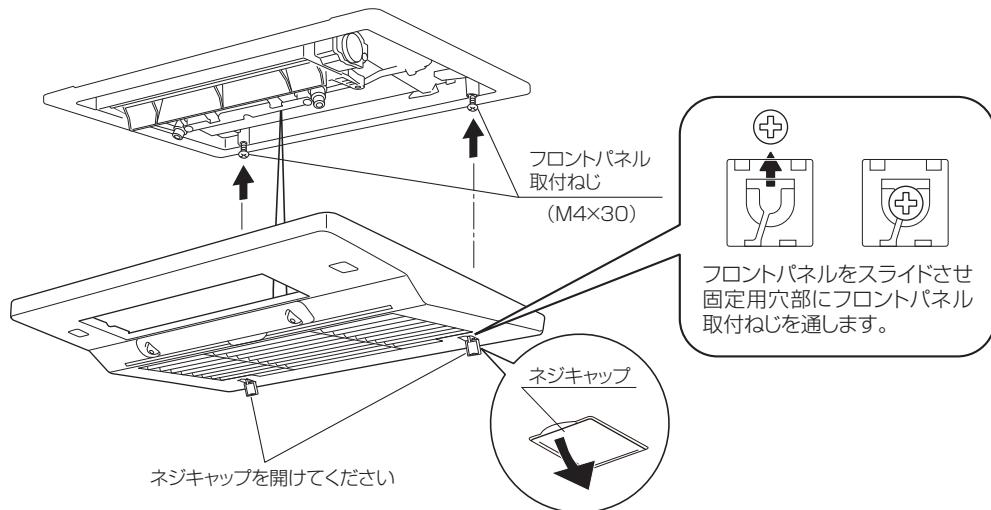
⑤フロントパネルからフィルターをはずす。

⑥フロントパネルを取り付ける。

- I. 機器本体に取り付けられている落下防止用ひもをフロントパネルのクリップに引っ掛け取り付けます。



- II. フロントパネルの固定用穴部に②で仮止めしたフロントパネル取付ねじを通して、フロントパネルを機器本体に取り付けます。
(機器本体との固定はしないでください。)

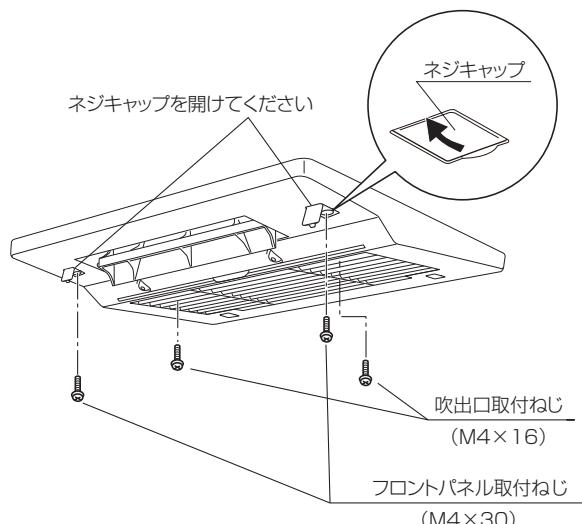


⚠ 注意

フロントパネル取り付ける際に無理な力を加えないでください。

⑦フロントパネル取付ねじ（M4×30：2本）（付属品）を取り付け、②で仮止めしたねじを締め付けフロントパネルを固定する。

※先付け施工時のフロントパネル取付ねじは、先付け本体パッキンセット（別売品：BHOT-C027）または吊り金具セット（別売品：BHOT-C026）に同梱のねじ（M4×50）を使用してください。



⚠ 注意

- フロントパネル取付ねじの締め込みすぎに注意してください。
インパクトドライバーなどの電気工具を使わないでください。
(パネルの破損、振動、騒音の原因になります。)



- ※フロントパネル取付ねじの締め付けめやすは、フロントパネルと天井の隙間がなくなった状態より、
1/2回転締め込む程度としてください。
- 取り付け後、フロントパネルに反りがないことを確認してください。
 - フロントパネルと天井面に隙間がないことを確認してください。
 - ルーバーが完全に閉じきることを確認してください。

⑧吹出口取付ねじ（M4×16：2本）（付属品）を取り付ける。

※先付け施工時の吹出口取付ねじは、フロントパネル取付ねじ（M4×30：2本）（付属品）を使用してください。

⑨フィルターをもと通りに取り付ける。

⚠ 注意

フロントパネル取り付け後、ミストノズルに汚れ・傷をつけないように注意してください。

13. ランドリーパイプの取り付け（別売品）

※ランドリーパイプは、別売品で設定してあるものを使用してください。

別売品のランドリーパイプは、2本仕様品と1本仕様品が設定しております。

- ランドリーパイプ 2本仕様品……RBK-W054

- ランドリーパイプ 1本仕様品……BHOT-W015

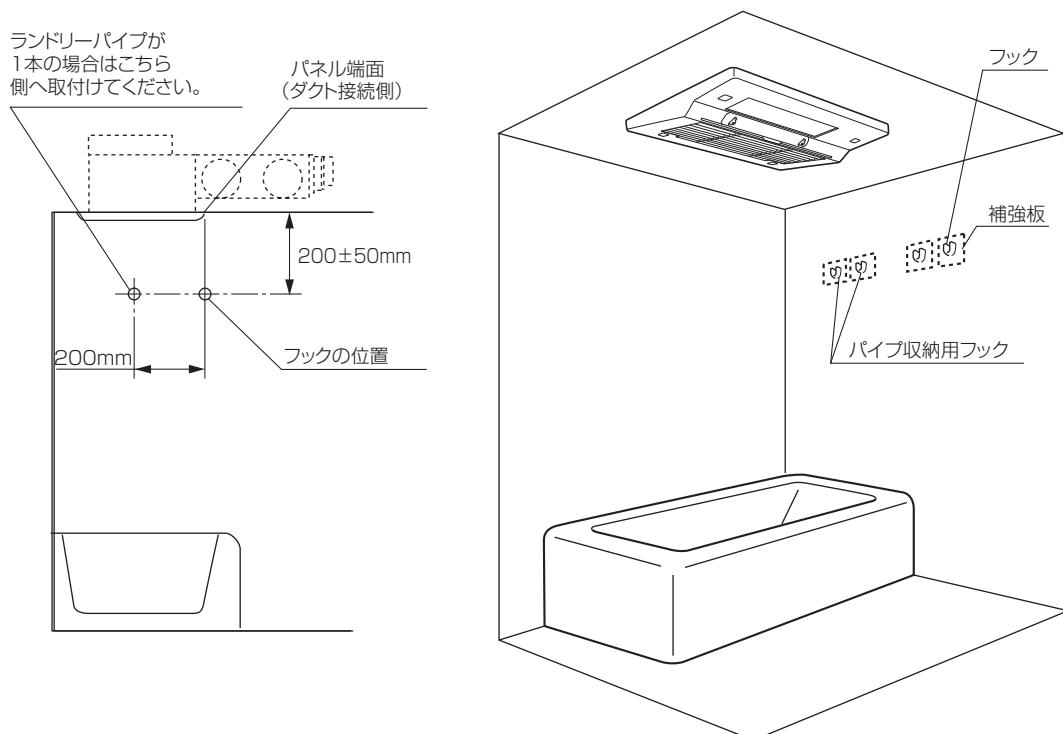
※取り付け位置に照明や窓があたらないか、確認を行ってください。場合によっては、1本しか設置できない場合があります。

13-1. ランドリーパイプと機器の位置

①パイプの位置

高さ方向：機器取り付けの天井面から $200 \pm 50\text{mm}$

横方向：機器フロントパネル端直下と端から 200mm （下図参照）



②浴室の天井高さが高い場合

浴室の天井高さが高い場合は、あらかじめお客様の使いやすさを考慮して、ランドリーパイプの高さ位置を確認し設置してください。

（あまり高く設置すると、ランドリーパイプの脱着がしにくくなります。）

また、機器本体とランドリーパイプが上記以上に離れた場合は乾燥性能が悪くなる場合があります。

※ランドリーパイプ受け部材の取り付けにあたっては、補強板（現地手配）を浴室壁面の裏側に速乾性接着剤などを使用して取り付けてください。

（補強板：板厚 $9 \sim 12\text{mm}$ 、 $100 \times 100\text{mm}$ 以上）

13-2. ランドリーパイプ用フックの取り付け

ランドリーパイプセットには、パイプを使用しないときに邪魔にならない位置にパイプを収納するための収納用フックが付属されています。収納用フックの位置は、お客様に相談の上、取り付け位置を決め施工してください。

（入浴の邪魔にならない位置にしてください。）

14. 試運転

14-1. 自動試運転（自動試運転機能付熱源機を使用される場合）

- 自動試運転の内容
 - ・機器と熱源機間の信号線接続チェック
 - ・電装基板の動作チェック
 - ・機器の水張りと完了チェック
 - ・暖房運転による動作チェック
- インテリジェント信号線を接続する場合は、熱源機側から自動試運転手順に従って試運転を行ってください。自動試運転について詳しい説明は、熱源機に同梱の工事説明書を参照してください。
- 自動試運転のときは、浴室の窓と扉は必ず閉めてください。
- 自動試運転中は、リモコンの残り時間表示部が「--」の点滅、暖房ランプの点滅で表示します。
- 自動試運転終了後、試運転を行ってください。

[暖房配管逆接続判定機能]

- 自動試運転中に暖房配管の行き戻り方向が正しいか判定します。逆接続と判断した場合、機器のリモコンの表示部が「--」点滅します。自動試運転結果がNGの場合で、機器や熱源機のエラー履歴に逆接続と判定されている場合は暖房配管行き戻り方向の再確認を行ってください。

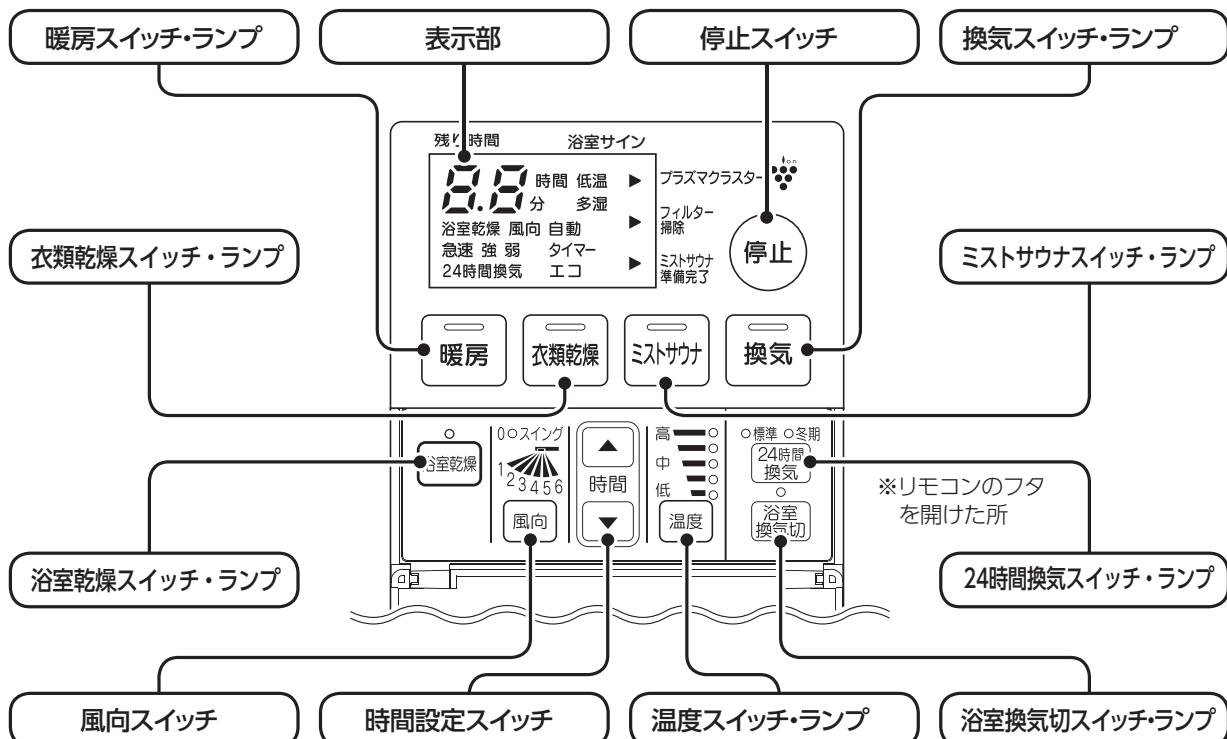
※暖房配管逆接続判定機能は外気温が高い夏期や使用される熱源機の種類によっては、逆に配管がつながっていても、逆接続と判定できない場合があります。

14-2. 試運転

脱衣室リモコンでの試運転の場合

○試運転は、インテリジェント通信線、E-CON 信号線のどちらに接続した場合でも行ってください。

- 熱源機を運転できる状態にします。
- 宅内のブレーカーを「ON」にします。



(1) 各運転の確認

運転モード	確認していただくこと	チェック
暖房運転		
暖房スイッチを押す	「暖房」ランプと表示部「急速」の点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が出てくるのを確認します。 (冷風防止機能があり、温風が出てくるまで数分かかります。) 暖房スイッチを押すたびに、「急速」→「強」→「弱」→「エコ」と表示が切り替わることを確認します。	
ミストサウナ運転	※脱衣室リモコンからはミストサウナのみ運転できます。「強」leftrightarrow「弱」の切り替えは浴室リモコンで行います。 運転開始時は「強（急速）」運転します。	
ミストサウナスイッチを押す	「ミストサウナ」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が、ミストノズルから温水ミストが出てくるのを確認します。 (温風・ミスト噴霧共に冷風防止機能・冷水噴霧防止機能があり、温風・温水ミストが出てくるまで数分かかります。)	
乾燥運転		
衣類乾燥スイッチを押す	「衣類乾燥」ランプと表示部「自動」の点灯を確認します。 プラズマクラスター郎の点灯を確認します。 「残り時間 - --」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が出てくるのを確認します。 衣類乾燥スイッチを押すたびに、「自動」→「タイマー」→「エコ」と表示が切り替わることを確認します。	
浴室乾燥スイッチを押す	「浴室乾燥」ランプと表示部「自動」の点灯を確認します。 プラズマクラスター郎の点灯を確認します。 「残り時間 - --」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が出てくるのを確認します。 浴室乾燥スイッチを押すたびに、「自動」→「タイマー」→「エコ」と表示が切り替わることを確認します。	
換気運転		
換気スイッチを押す	「換気」ランプと表示部「自動」の点灯を確認します。 「残り時間 -3.0 時間」の表示を確認します。 換気ファンが運転していることを確認します。	
24 時間換気運転		
24 時間換気スイッチを押す	「標準」ランプの点灯を確認します。 「24 時間換気」の表示を確認します。 24 時間換気スイッチを押すたびに、「標準」leftrightarrow「冬期」とランプの点灯が切り替わることを確認します。	
浴室換気切機能		
24 時間換気運転中に浴室換気切スイッチを押す	「浴室換気切」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -1.0 時間」の表示を確認します。 浴室から換気されていない状態で、浴室換気切スイッチを再度押し、浴室から換気が再開されることを確認します。	

(2) 時間設定の確認

暖房、ミストサウナ、衣類乾燥（タイマー）、浴室乾燥（タイマー）、換気、浴室換気切の運転中にご確認ください。

操作	各運転について、運転時間が設定できることを確認します。	
時間設定スイッチ「▲」「▼」を押す	暖房	1 分～6 時間
	ミストサウナ	1 分～1 時間
	衣類乾燥（タイマー）	1 分～8 時間
	浴室乾燥（タイマー）	1 分～8 時間
	換気	1 分～12 時間
	浴室換気切	1 分～6 時間

(3) 温度設定の確認

暖房、ミストサウナ運転中にご確認ください。

操作	「温度」ランプの点灯が低から高まで5段階に切り替わることを確認します。	
温度スイッチを押す		

(4) 風向の確認

暖房、ミストサウナ（強）、衣類乾燥、浴室乾燥の運転中にご確認ください。

操作	ルーバーの角度が切り替わったり、スイング（スイングランプ点灯）することを確認します。 表示部に「1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 0」と順に表示することを確認します。	
風向スイッチを押す		

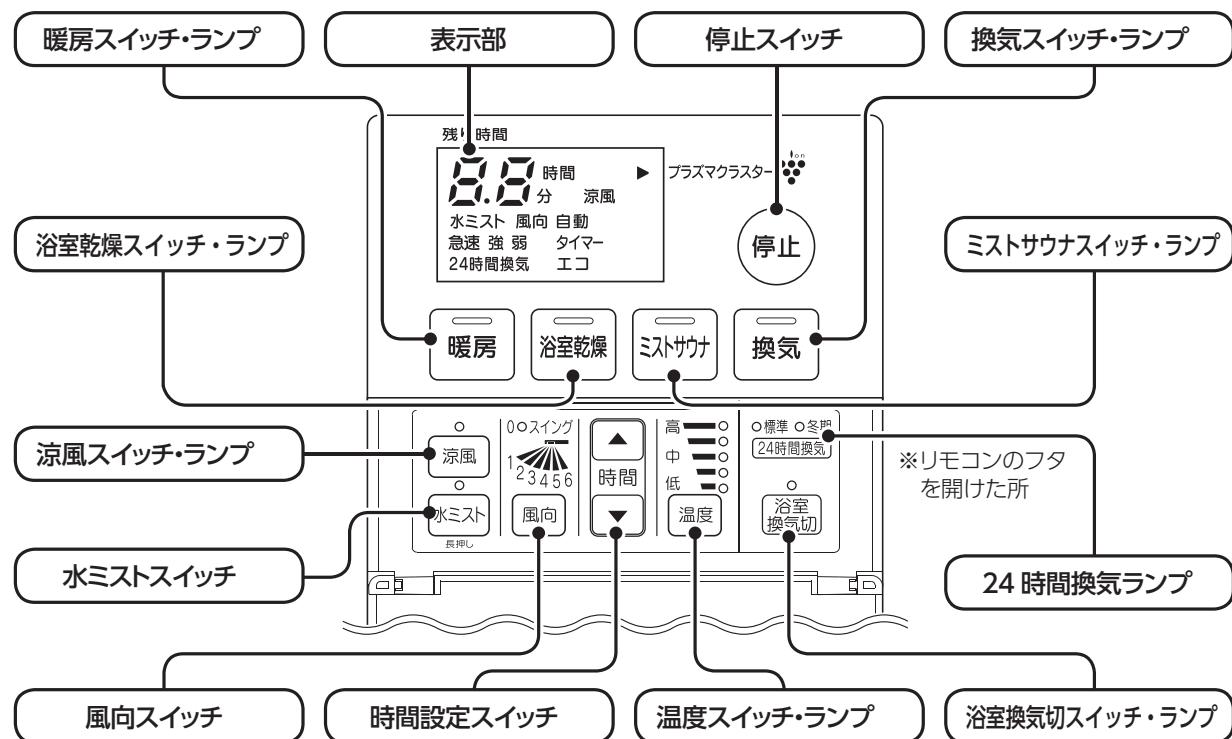
(5) 停止の確認

暖房、ミストサウナ、衣類乾燥、浴室乾燥、換気、24時間換気の運転中にご確認ください。

操作	全ての運転が停止することを確認します（24時間換気は24時間換気スイッチ3秒長押しで停止します）。	
停止スイッチを押す		

*すべて確認が終了したら、宅内の漏電ブレーカーを「切」にして、電源をOFFにしてください。約10秒後に宅内の漏電ブレーカーを「入」にして、ON状態にして、各モードの設定をすべて初期設定値（工場出荷時）に戻してください。

浴室リモコンでの試運転の場合



(1) 各運転の確認

運転モード	確認していただくこと	チェック
暖房運転		
暖房スイッチを押す	「暖房」ランプと表示部「急速」の点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が出てくるのを確認します。 (冷風防止機能があり、温風が出てくるまで数分かかります。) 暖房スイッチを押すたびに、「急速」→「強」→「弱」→「エコ」と表示が切り替わることを確認します。	
ミストサウナ運転		
ミストサウナスイッチを押す	「ミストサウナ」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が、ミストノズルから温水ミストが出てくるのを確認します。 (温風・ミスト噴霧共に冷風防止機能・冷水噴霧防止機能があり、温風・温水ミストが出てくるまで数分かかります。) ミストサウナスイッチを押すたびに、「強」⇒「弱」と表示が切り替わることを確認します。 ※「強」は温水ミスト噴霧+温風運転、「弱」は温水ミスト噴霧のみの運転となります。	
水ミスト運転		
水ミストスイッチを1秒長押しする	「水ミスト」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。 温風吹き出し口から送風が、ミストノズルから水ミストが出てくるのを確認します。 水ミストスイッチを押すたびに、「強」⇒「弱」と表示が切り替わることを確認します。 ※「強」は水ミスト噴霧+送風運転、「弱」は水ミスト噴霧のみの運転となります。	
乾燥運転		
浴室乾燥スイッチを押す	「浴室乾燥」ランプと表示部「自動」の点灯を確認します。 プラズマクラスターランプの点灯を確認します。 「残り時間 - --」の表示を確認します。 温風吹き出し口から温風が出てくるのを確認します。 浴室乾燥スイッチを押すたびに、「自動」→「タイマー」→「エコ」と表示が切り替わることを確認します。	
涼風運転		
涼風スイッチを押す	「涼風」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -30 分」の表示を確認します。	
換気運転		
換気スイッチを押す	「換気」ランプと表示部「自動」の点灯を確認します。 「残り時間 -3.0 時間」の表示を確認します。 換気ファンが運転していることを確認します。	
浴室換気切機能		
24 時間換気運転中に浴室換気切スイッチを押す	「浴室換気切」ランプの点灯を確認します。 「残り時間 -1.0 時間」の表示を確認します。 24 時間換気が停止している状態で、浴室換気切スイッチを再度押し、24 時間換気が再開されることを確認します。	

(2) 時間設定の確認

暖房、ミストサウナ、水ミスト、浴室乾燥（タイマー）、換気、涼風、浴室換気切の運転中にご確認ください。

操作		
時間設定スイッチ「▲」「▼」を押す	各運転について、運転時間が設定できることを確認します。	
	暖房	1 分～ 6 時間
	ミストサウナ	1 分～ 1 時間
	水ミスト	1 分～ 1 時間
	浴室乾燥（タイマー）	1 分～ 8 時間
	換気	1 分～ 12 時間
	涼風	1 分～ 12 時間
	浴室換気切	1 分～ 6 時間

(3) 温度設定の確認

暖房、ミストサウナ運転中にご確認ください。

操作		
温度スイッチを押す	「温度」ランプの点灯が低から高まで 5 段階に切り替わることを確認します。	

(4) 風向の確認

暖房、ミストサウナ（強）、水ミスト（強）、浴室乾燥、涼風の運転中にご確認ください。

操作		
風向スイッチを押す	ルーバーの角度が切り替わったり、スイング（スイングランプ点灯）することを確認します。	
	表示部に「1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 0」と順に表示することを確認します。	

(5) 停止の確認

暖房、ミストサウナ、水ミスト、浴室乾燥、換気、涼風の運転中にご確認ください。

操作		
停止スイッチを押す	全ての運転が停止することを確認します。	

※すべて確認が終了したら、宅内の漏電ブレーカーを「切」にして、電源を OFF にしてください。約 10 秒後に宅内の漏電ブレーカーを「入」にして、ON 状態にして、各モードの設定をすべて初期設定値（工場出荷時）に戻してください。

(参考) 24 時間換気運転の現場対応機能について

リモコンの設定モード、メンテモニターで 24 時間換気風量の調整と運転状態の確認することができます。

(1) 24 時間換気風量の調整について

※現場対応で必要に応じリモコン設定モードで、換気風量を微調整することができます。

リモコンの「**▼** (時間設定)」→「**▲** (時間設定)」→「**〔吸房〕**」スイッチの順に同時に押しし、3つのスイッチを約 2 秒以上長押しすることにより設定モードに入ります。

「**▲ ▼ (時間設定)**」スイッチで「**F3**」を選択し、「**〔風向〕**」スイッチを押してモードを確定した後、「**▲ ▼ (時間設定)**」スイッチで設定内容を選択します。

「**〔風向〕**」スイッチを押して選択内容を確定します。

「**〔停止〕**」スイッチを押すか、約 1 分以上放置するとリモコンの表示が消えます。

7 セグの表示項目は下表による。

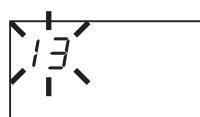
7 セグ表示	- 3	- 2	- 1	0	1	2	3
調整値	- 15%	- 10%	- 5%	0%	+ 5%	+ 10%	+ 15%

表示は設定風量に対するおおよその割合で、施工方法などにより多少増減する可能性があります。

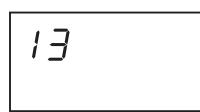
(2) 24 時間換気運転時の換気ファン回転数の確認について

※現場対応で必要に応じリモコンメンテモニターで換気ファンの回転数を確認することができます。

- 24 時間換気運転中にリモコンの**▼**を押しながら「**〔吸房〕**」を約 2 秒以上長押ししてください。リモコンの表示部に「**0 1**」と表示されます。**▲**・**▼**を押して「**05**」表示に変えると「**05**」を約 2 秒表示した後に換気ファンの安定状態を表示します。
- ※リモコンの表示値は、風量表示ではなく換気ファンの回転数を表示します。表示値 × 100 が回転数となります。(例 13 → 1300r/min)
- **▼**を押しながら「**〔吸房〕**」を 2 秒同時長押しか、約 1 時間以上放置するとリモコンの表示が消えます。



24 時間換気運転が安定していない場合は、数値が点滅状態になります。



24 時間換気運転が安定している場合は、数値が点灯状態になります。

(参考) DIP スイッチと設定内容について

リモコン裏面の DIP スイッチにより以下の設定変更ができます。

・設定変更方法 (リモコン DIP スイッチ)

DIP スイッチ	設定項目	出荷時設定	設定内容	
1	24 時間換気冬期（弱）切替	○	OFF	冬期運転時の換気風量を 0.4 回/h
		ON	ON	冬期運転時の換気風量を 0.3 回/h
2	換気風量上限切	○	OFF	回転数の上限を通常の状態で運転
		ON	ON	回転数の上限を下げた状態で運転
3	公団対応有無切替	○	OFF	運転制限なし
		ON	ON	24 時間換気停止時、他の運転制限あり ※

※公団対応有無切替は ON すると、24 時間換気停止時、他の運転操作に制限がかかります。通常は設定しないでください。

・シャッター出力切替

DIP スイッチ		出荷時設定	設定内容	
4	5		シャッター連動出力が ON になる運転	
OFF	OFF	○	24 時間換気・換気・乾燥・涼風・外部スイッチ ON	
ON	OFF		24 時間換気風量より大きい換気風量となる場合	
OFF	ON		24 時間換気	

・24 時間換気設定風量切替

DIP スイッチ			出荷時設定	設定内容	
6	7	8		24 時間換気設定風量	2 室換気型
OFF	OFF	OFF		30m³/h	
ON	OFF	OFF		40m³/h	
OFF	ON	OFF		50m³/h	
OFF	OFF	ON		60m³/h	
ON	ON	OFF	○	80m³/h	
ON	OFF	ON		90m³/h	
OFF	ON	ON		100m³/h	
ON	ON	ON		110m³/h	

DIP スイッチ			出荷時設定	設定内容	
6	7	8		24 時間換気設定風量	3 室換気型
OFF	OFF	OFF		60m³/h	
ON	OFF	OFF		80m³/h	
OFF	ON	OFF		90m³/h	
ON	ON	OFF	○	100m³/h	
OFF	OFF	ON		110m³/h	
ON	OFF	ON		120m³/h	
OFF	ON	ON		145m³/h	
ON	ON	ON		160m³/h	

※出荷時の設定風量は、2 室換気型 : 80m³/h、3 室換気型 : 100m³/h に設定されています。

15. 異常時の処置、お客様への説明

15-1. 異常時の処置

エラー表示とその内容および発生時の対応方法

安全装置	エラー表示および内容	点検項目
	脱衣室および浴室リモコンに表示	
熱源機渴水	04点滅	暖房循環水の確認
ミスト高温・低温異常	15点滅	流量制御弁の故障、暖房配管のつまり、 熱源機の異常確認
ミスト初期加熱異常		サーミスタ抵抗値の測定
室温高温異常	16点滅	サーミスタ抵抗値の測定
暖房车低温異常		断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
ミストユニット内漏水検知	17点滅	ミストユニット内配管の給水・暖房回路の漏水の確認
室温サーミスタ断線・短絡	31点滅	サーミスタ抵抗値の測定
浴暖湯温サーミスタ断線・短絡	32点滅	断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
ミストサーミスタ断線・短絡	34点滅	サーミスタ抵抗値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
液液湯温サーミスタ断線・短絡	37点滅	サーミスタ抵抗値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
湿度センサー断線・短絡・検出異常	36点滅	湿度センサー抵抗値、電圧値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
水位電極断線	43点滅	水位電極の断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
ルーバー閉故障	55点滅	ルーバー用ステッピングモーター抵抗値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認 フロントパネル取付状態の確認
ミスト用熱交換器内部漏れ故障	59点滅	ミスト用熱交換器の確認 浴暖湯温サーミスタ抵抗値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
循環ファン回転数異常	62点滅	循環あるいは換気モーターの電圧値測定
換気ファン回転数異常	68点滅	断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
電源パルス異常	70点滅	電源ノイズの有無の確認
脱衣室リモコン通信異常	74点滅	脱衣室リモコン電圧値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
浴室リモコン通信異常	75点滅	浴室リモコン電圧値の測定 断線、短絡、コネクタ接続不良の確認
暖房配管逆接続異常	91点滅	機器と熱源機間の暖房配管行き戻り方向の 確認
熱源機異常（渴水以外）	96点滅	熱源機の異常内容の確認

※そのほかに異常が発生した場合は「設置工事後の点検確認」および取扱説明書の「故障かな？と思ったら」
または本体に付属の「故障診断シート」に基づいて処置をしてください。

15-2. お客様への説明

①取扱説明書に従って取り扱い方法をお客様に説明してください。

試運転で各モードの設定値を変更した場合は、試運転終了後に下記の要領で各設定値を工場出荷時設定値に戻してください。やむを得ず戻せなかった場合は、次回使用時に取扱説明書に記載してある工場出荷設定値と異なる旨を説明してください。

工場出荷設定値に戻す方法

- 漏電安全装置の「テストボタン」を押して、電源をOFFにしてください。設定値が工場出荷状態になります。10秒後に「リセットボタン」を押しON状態にしてください。

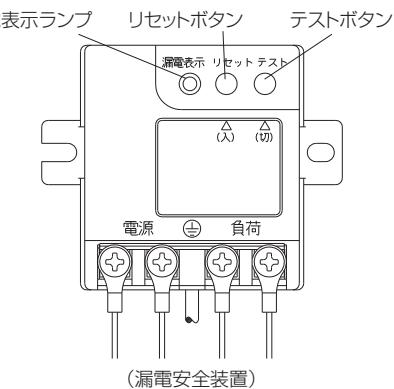
②保証書に必ず必要事項を記入の上、お客様にお渡しください。

また、取扱説明書に従って「アフターサービス」について説明してください。

③冬期の凍結による破損防止について説明してください。

熱源機・本機器とも電源コードを抜かないでください。

凍結予防運転ができなくなり、機器が破損することがあります。長期間使用しない場合など、やむを得ず電源を落とす場合は、機器の取扱説明書に従いミスト回路の水抜きを行った後熱源機の取扱説明書に記載されている方法に従ってください。



MEMO

MEMO

設置工事後の点検確認

設置工事が終了しましたら、チェックリストに基づいて必ず確認を行ってください。

●チェックリスト

点検項目	点 檢 内 容	チェック
設 置	電源電圧 機器本体の取り付け位置は適切で水平に取り付けられていますか？	
	設置条件 リモコンの取り付け位置は適切ですか？	
	ユニットバスとの組み合わせ仕様は適切ですか？	
	保守・管理上の空間 点検・修理に必要な空間はありますか？	
	安定設置 機器は安定して強固に取り付けられていますか？	
電気工事	アース線の接続は確実ですか？	
	電源工事、電気結線工事は指定された工事がされていますか？	
給水配管接続	給水圧は 0.15 ~ 0.5MPa (約 1.5 ~ 5kgf/cm ²) の範囲内ですか？	
	給水配管接続部からの漏れはありませんか？	
	給水元栓は取り付けられていますか？	
	給水元栓は開栓されていますか？	
	フィルターにごみなどがつまっていますか？	
ダクト、温水配管 ・給水配管接続部、 フロントパネル	吸気・排気ダクト接続口の排気漏れはありませんか？	
	温水配管接続部からの漏れはありませんか？	
	配管の接続は正しいですか？(暖房往き(入)・戻り(出)・給水)	
	フロントパネルはユニットバス天井に隙間なく確実に取り付けてありますか？	
	ランドリーパイプの位置・強度は適切ですか？	
試運転	自動試運転を行いましたか？(自動試運転機能付熱源機を使用される場合)	
	試運転を行いましたか？	



07267064